

PHP 超入門



目次

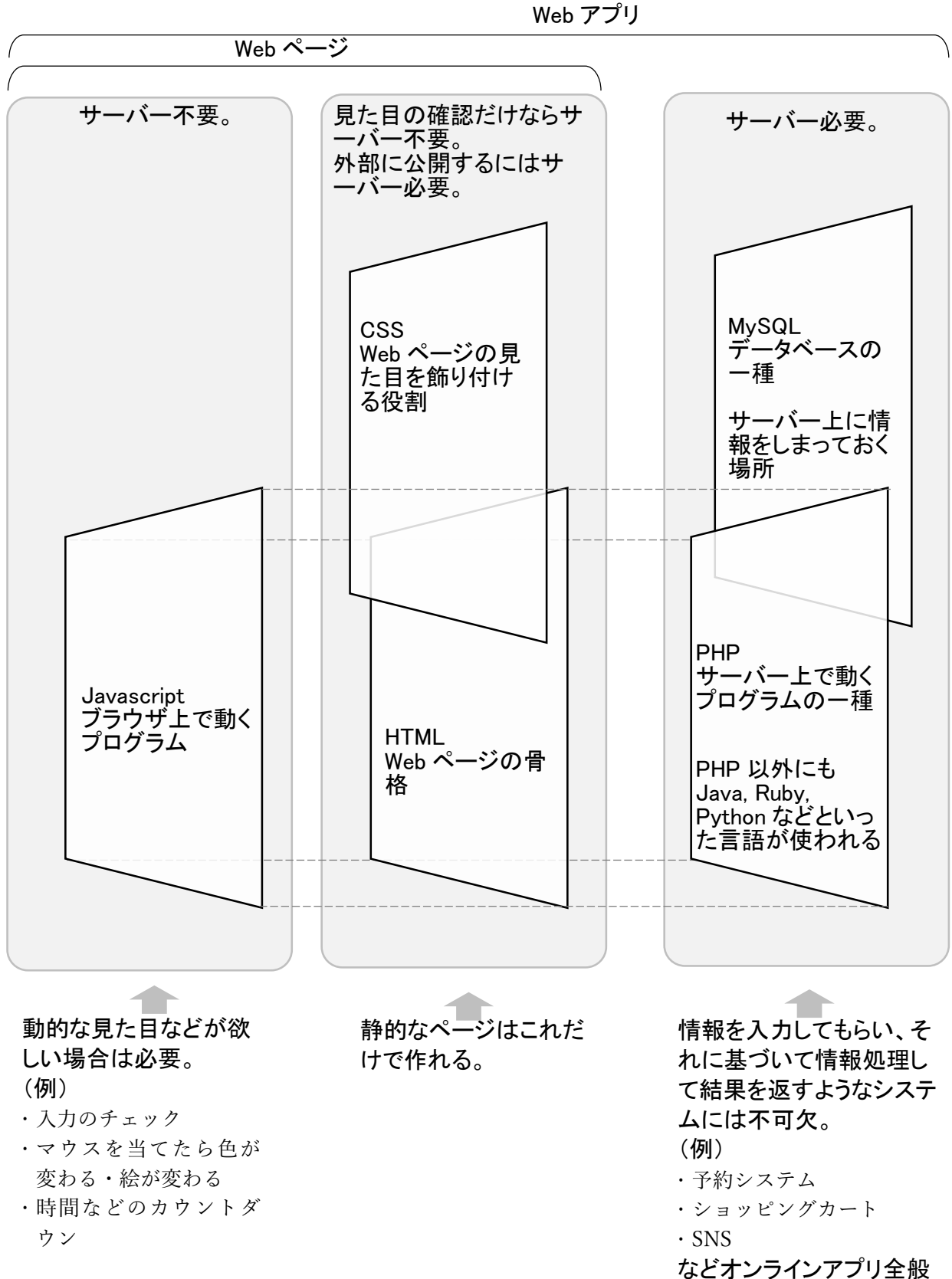
第0章 Web アプリとは	3
第1章 準備	6
1-1 サーバー	6
1-2 テキストエディタ ATOM の入手とインストール	18
1-3 Atom で新規ファイルを作り、保存する	30
第2章 HTML の基礎	33
2-1 HTML ファイル	33
2-2 HTML の基礎	35
2-3 入力フォーム Form タグ	37
2-4 submit(登録)ボタン	39
2-5 action を main.php に	40
第3章 PHP の基礎	41
3-1 サーバー上で動かす準備	41
3-2 データを送る側の編集 login.html	42
3-3 データを受け取る側 main.php	42
3-4 PHP での文字列の扱い	44
3-5 最初のページに戻るリンクを作る	46
3-6 改行(HTML)	47
3-7 PHP 内に HTML を組み込む	48
第4章 計算してみよう(PHP に慣れる)	52
4-1 入力ページ作成	52
4-2 計算+出力プログラム作成	53
4-3 数値の計算	54
4-4 入力ページに戻るリンクを作る	55
第5章 計算練習ゲームを作ろう	56
5-1 問題表示、答え入力のページをつくる	56
5-2 hidden 属性で入力されていない値を渡す	58
5-3 if 文で、正解・不正解を判定	59
第6章 2問の計算練習ゲームを作ろう	61
6-1 第2問をつくる	62
6-2 受け取り側を作ろう	64
6-3 表で表示してみよう	65
第7章 おみくじをつくろう その1	69
7-1 配列	69
7-2 配列の中身を見る	70
7-3 配列からランダムに取り出す	72
7-4 いよいよ、おみくじ	74
第8章 おみくじをつくろう その2	78
8-1 画像表示	78
8-2 おみくじを画像表示にする まずは箱	79

8-3 おみくじを画像表示にする 結果.....	80
8-4 不具合修正.....	81
第9章 十二支を出す.....	82
9-1 十二支を出す 基本.....	82
9-2 十二支を出す 年号を選択.....	83
9-3 西暦か平成か、条件分岐.....	84
9-4 令和も追加してみよう.....	84
9-5 明治、大正、昭和も追加しよう.....	85
第10章 繰り返し処理 foreach.....	86
10-1 foreach.....	86
10-2 foreach を HTML 内で使う.....	87
第11章 アンケートを作ってみよう.....	89
11-1 入力画面.....	89
11-2 入力結果を受け取り・確認 ank_exe.php.....	92
11-3 完了画面.....	94
第12章 今後.....	95
練習の解答例.....	96
第3章.....	96
第4章.....	96
第5章.....	97
第6章.....	98
第7章.....	98
第8章.....	99
第9章.....	100
第10章.....	102
第11章.....	102

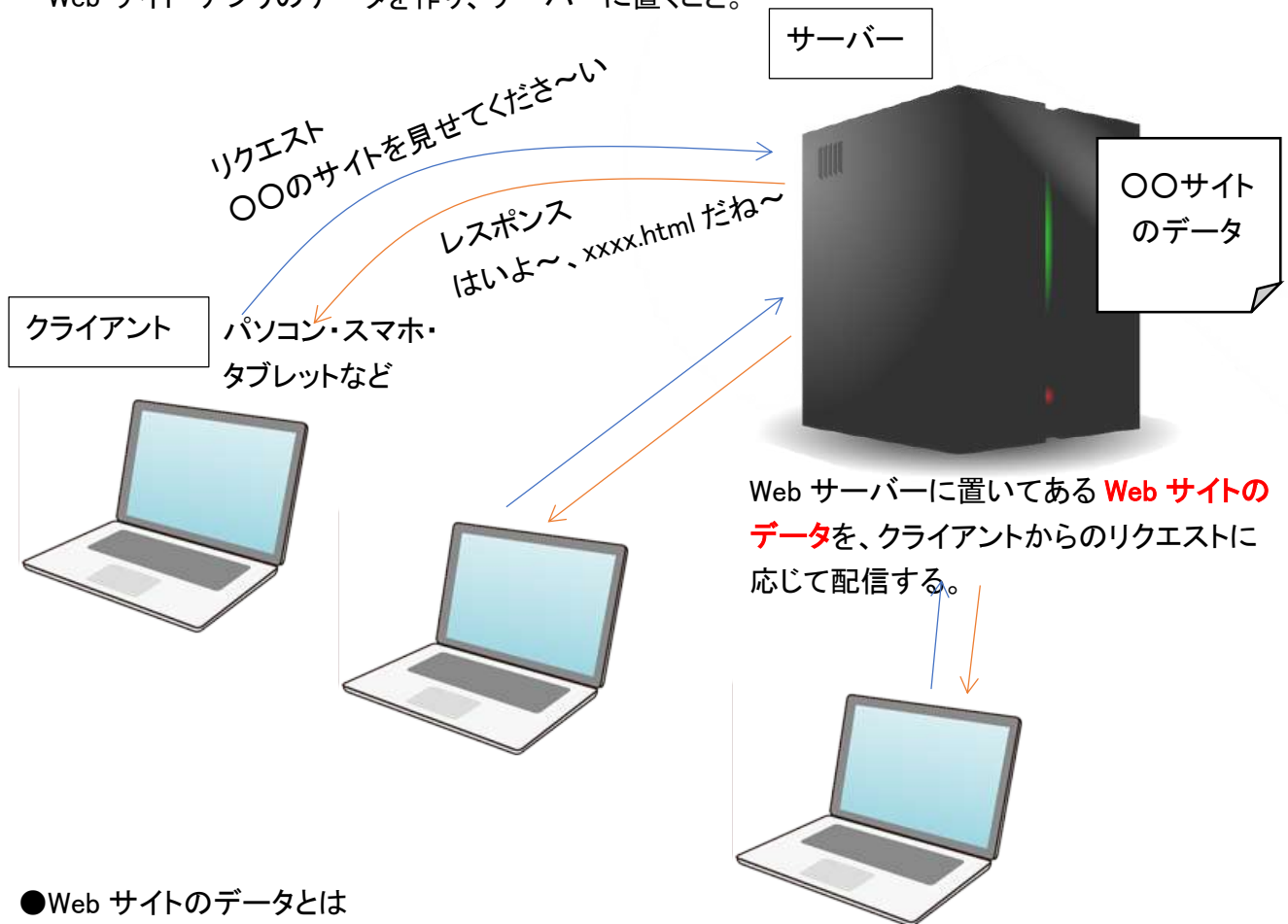
第0章 Web アプリとは

Web サーバー上で動くアプリケーションソフトウェア(プログラム)のこと。

Web ページ・Web アプリの仕組み



- ホームページ(正確には「Web サイト」)や Web アプリを作るとは Web サイト・アプリのデータを作り、サーバーに置くこと。



- Web サイトのデータとは

HTML, CSS, Javascript などから成る(基本)

HTML・・・HyperText Markup Language

Web サイトの骨格をつくる言語。最低限 HTML ファイルがあればホームページはできるが、見た目がショボい。

CSS・・・Cascading Style Sheets

Web サイトの見た目をゴージャスにする役割。

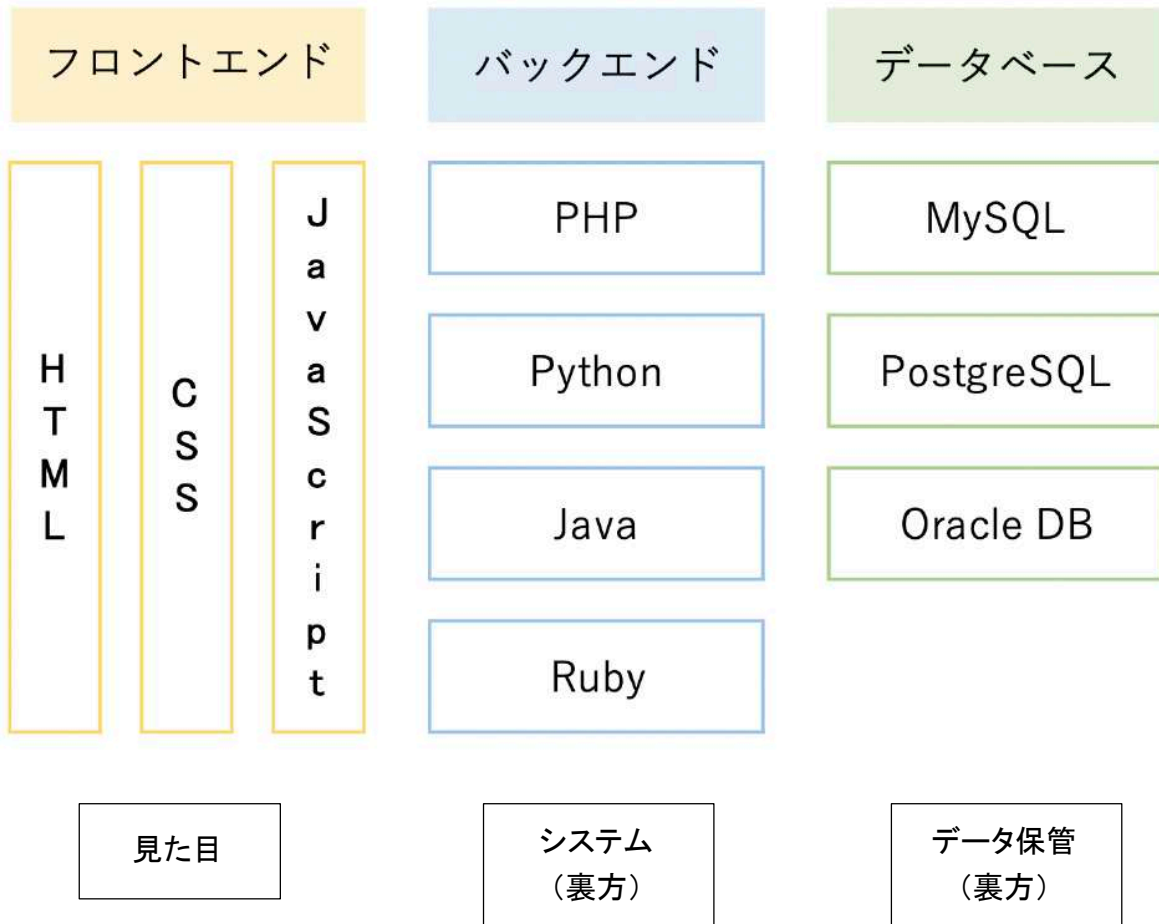
Javascript・・・動的な部分を扱うプログラミング言語

- ◆ これらを直接記述して使いこなせなくても、Web サイトのデータを作れるツールのひとつが WordPress。

(WordPress が HTML, CSS, Javascript に翻訳してくれるイメージ: 厳密には **PHP** と **データベース** で構築されている)

WordPress は Web アプリの一種。

Webアプリケーションで使われる代表的な言語



第1章 準備

1-1 サーバー

本講座（テキスト）では、お手軽にサーバー環境を作れる「^{マンプ}MAMP」を使います。

1-1-1 サーバー環境（MAMP）の入手

MAMP のサイト（<https://www.mamp.info>）に接続してください。

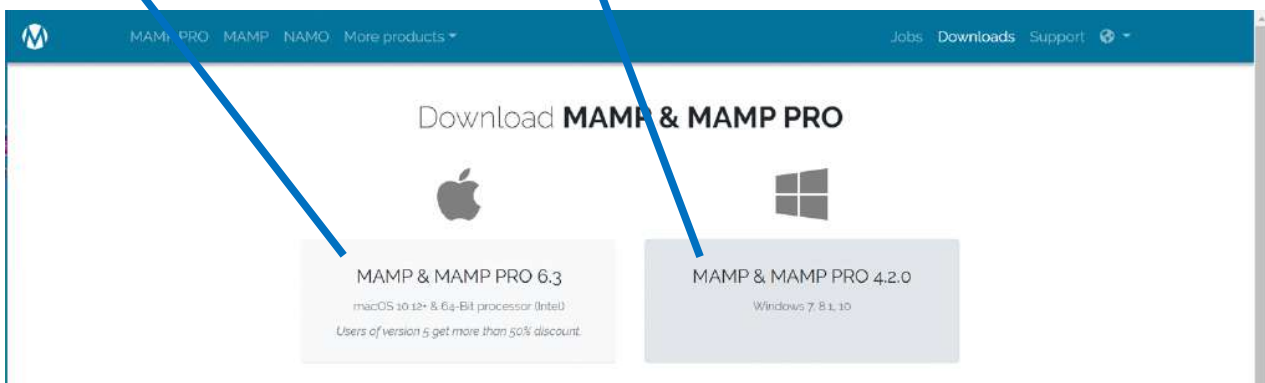
Free Download をクリックしてください。



環境に合ったものをクリックしてください。

Mac 用

Windows 用





※上図は Chrome の場合ですが、他のブラウザでもダウンロード中であることが示されている部分がありますので、そこを確認してください。

ダウンロードが完了したら、ダウンロードフォルダを開いてください。
 (環境や設定によっては、ダウンロード先が他のフォルダの場合もあります。)

Chrome の場合は、次の図のように「フォルダを開く」をクリックするとダウンロードされたファイルのあるフォルダが開かれます。



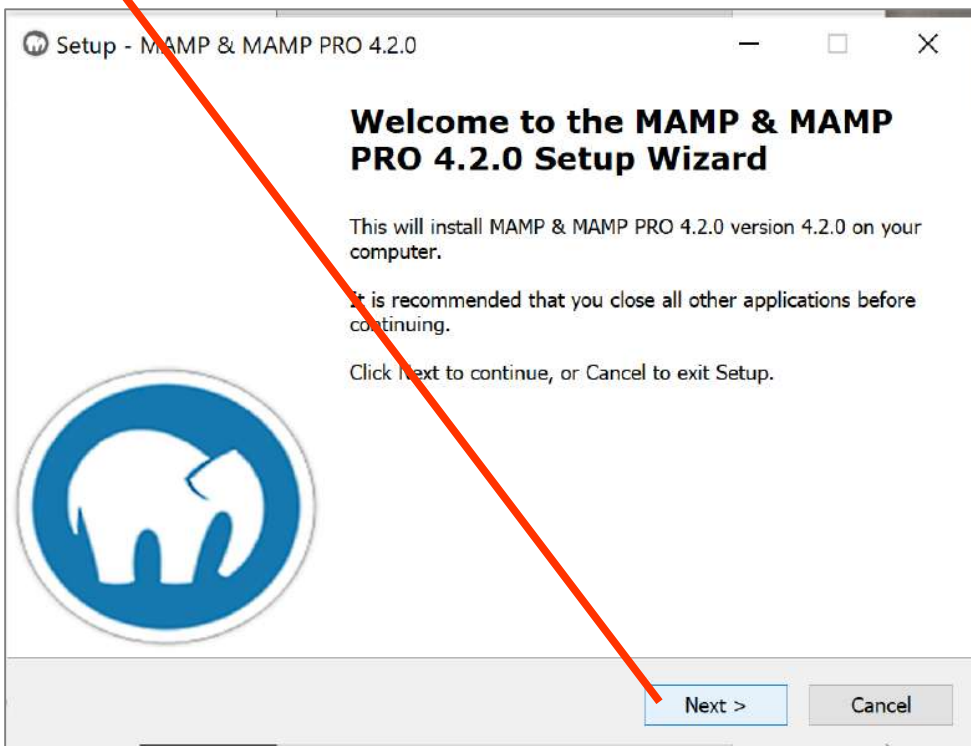
1-1-2 MAMP のインストール

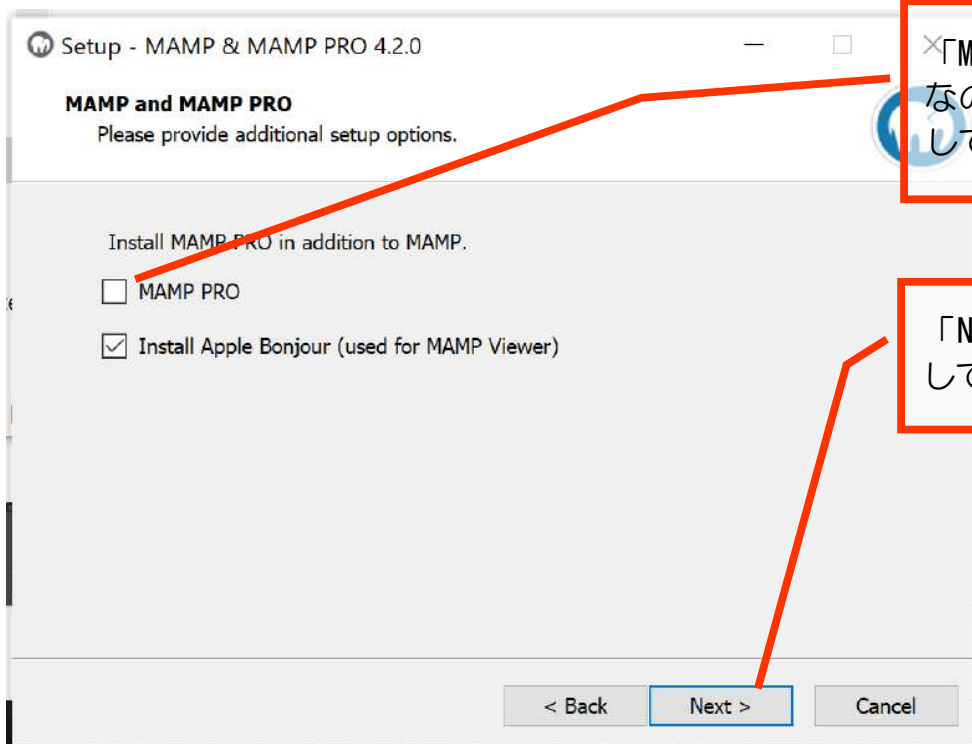
「MAMP_MAMP_PRO_4.2.0.exe」をダブルクリックしてください。
(「4.2.0」はバージョンです(2020年6月17日時点)ので、ダウンロードする時期によっては違う数字の場合もあります。)



ユーザーアカウント制御の確認画面が出たら、「はい」をクリックして進んでください。

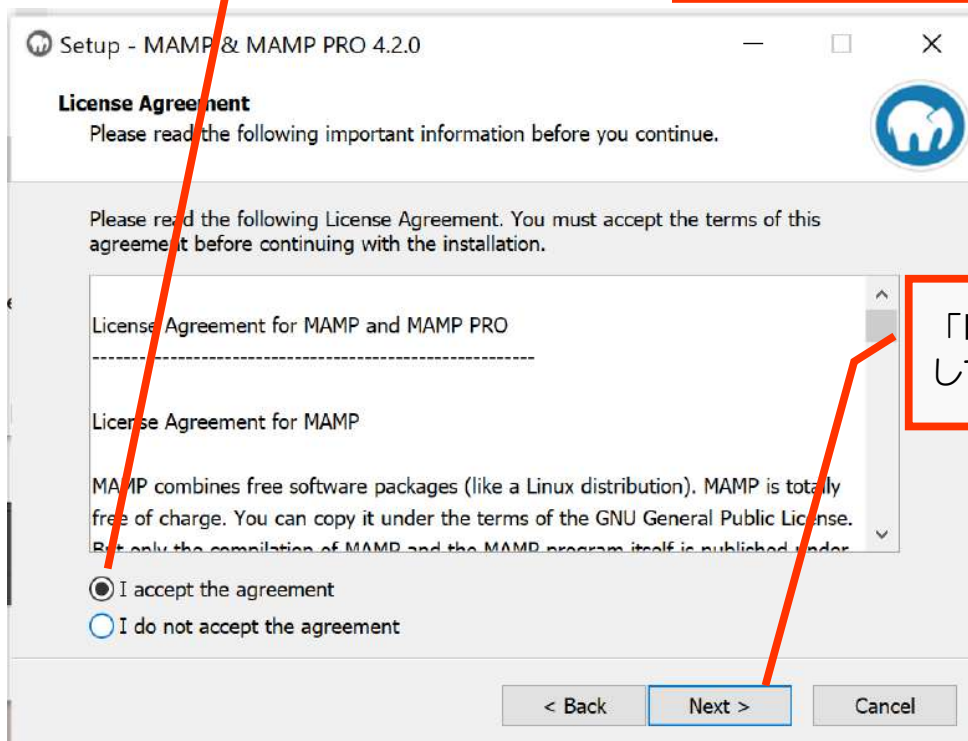
「Next」をクリックしてください。





×「MAMP PRO」は不要なのでチェックを外してください。

「NEXT」をクリックしてください。



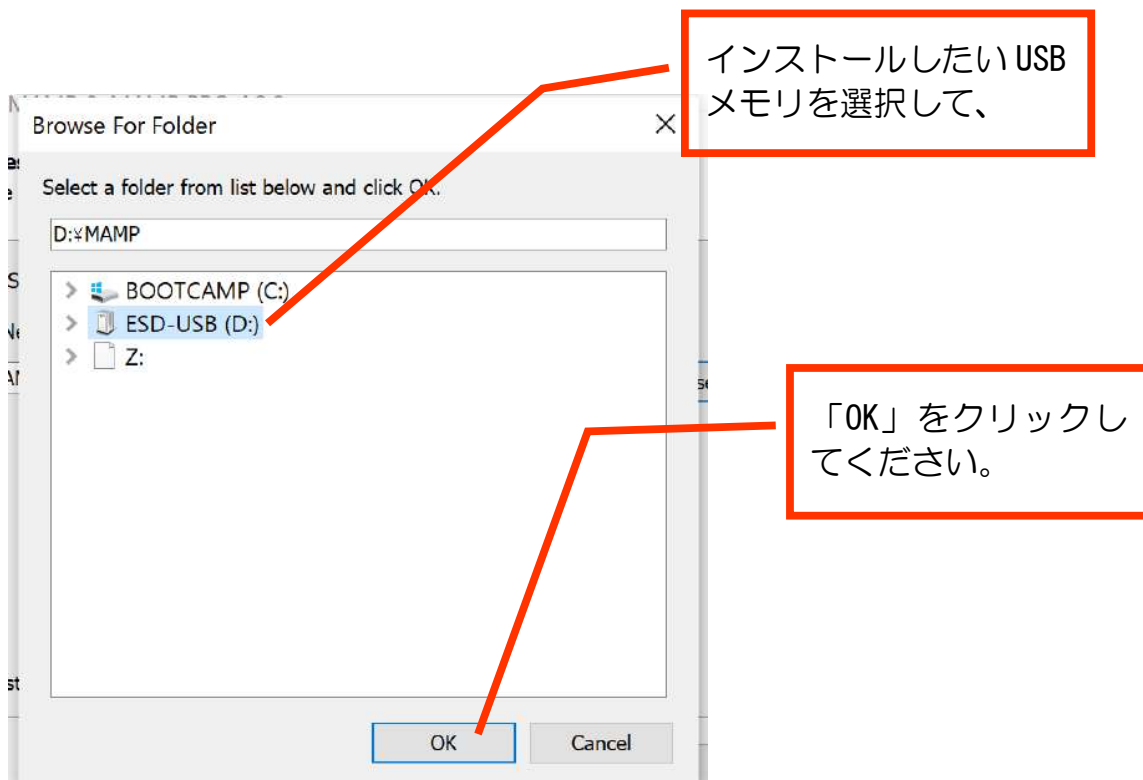
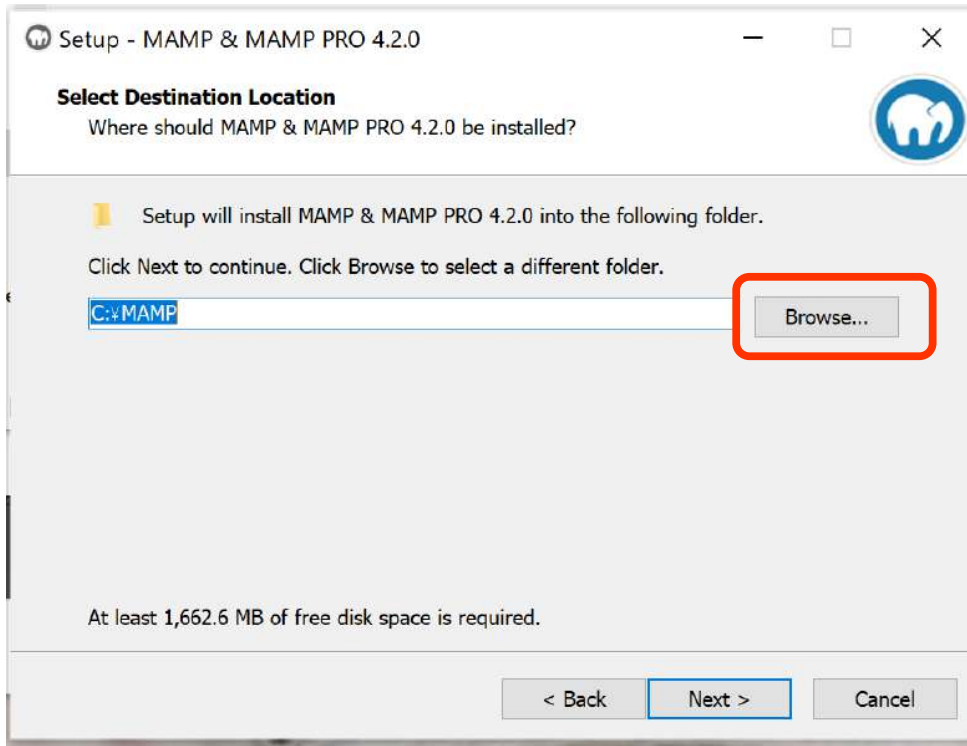
「I accept the agreement」にチェックが入っていることを確認し、

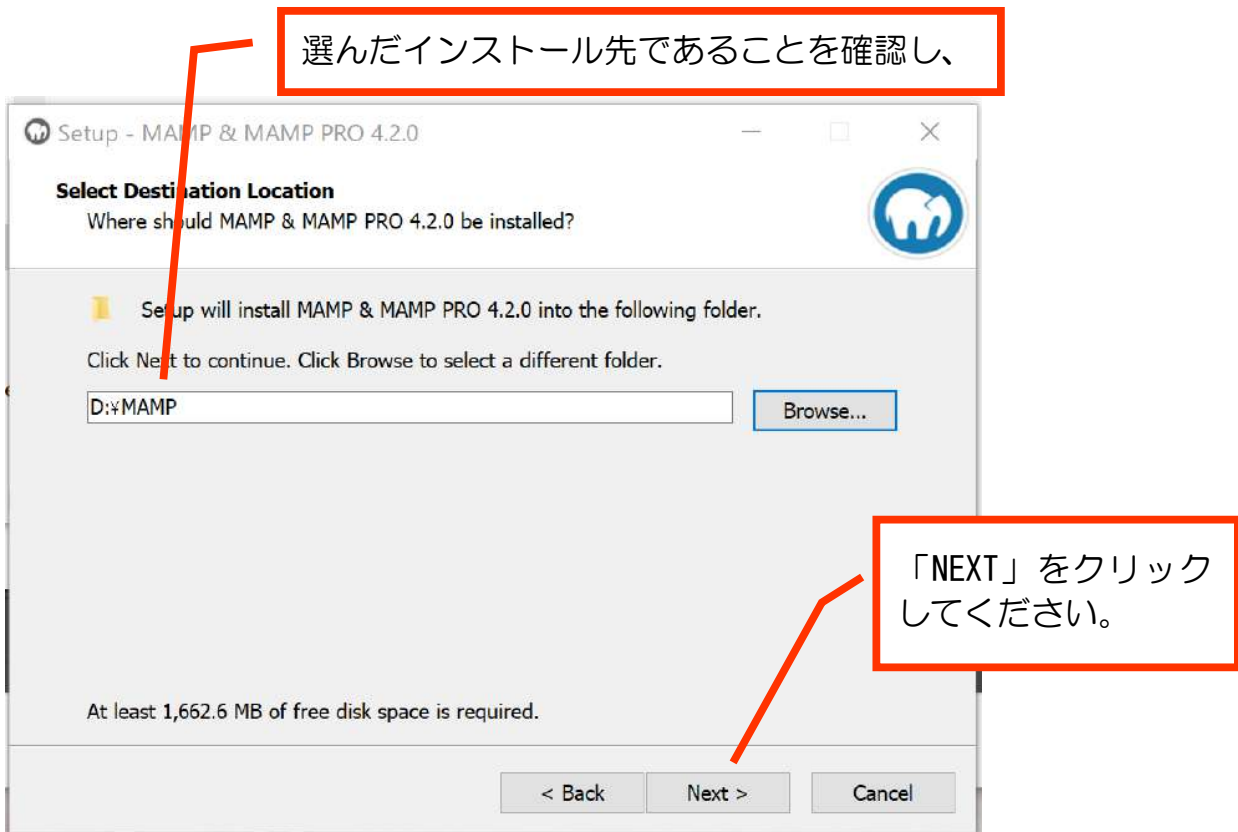
「NEXT」をクリックしてください。

インストール先を指定できます。

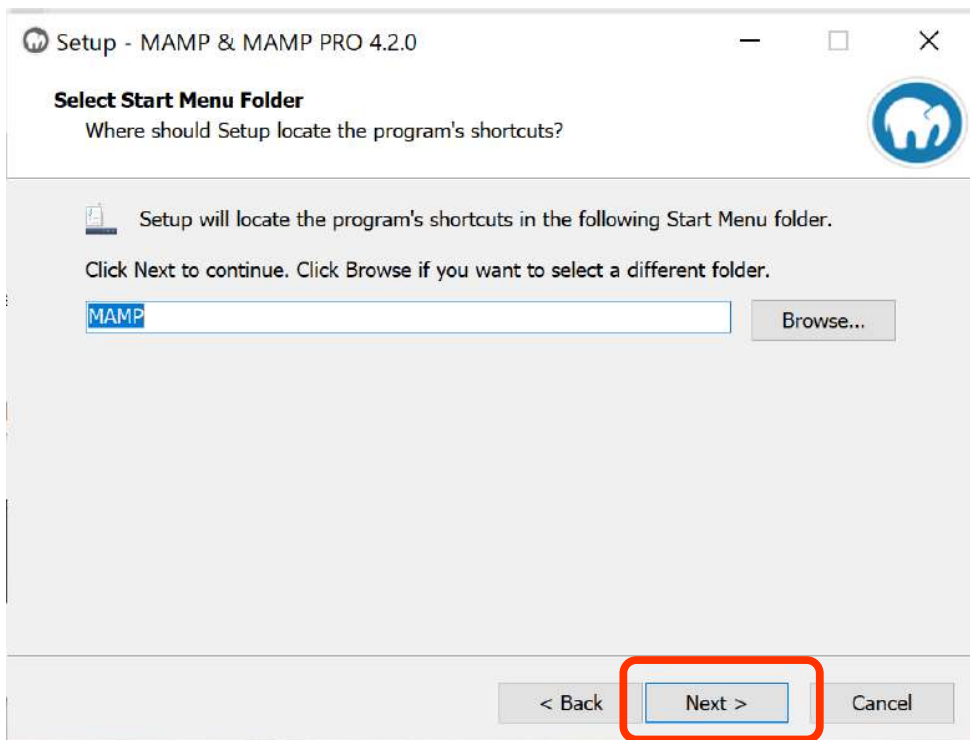
デフォルト（初期設定）では「C:\MAMP」となっていますので、ご自身のパソコンにインストールする場合はそのままでもよいでしょう。

USBメモリにインストールする場合は、「Browse…」をクリックしてください。（インストールには約 1.7GB の空き容量が必要です。）

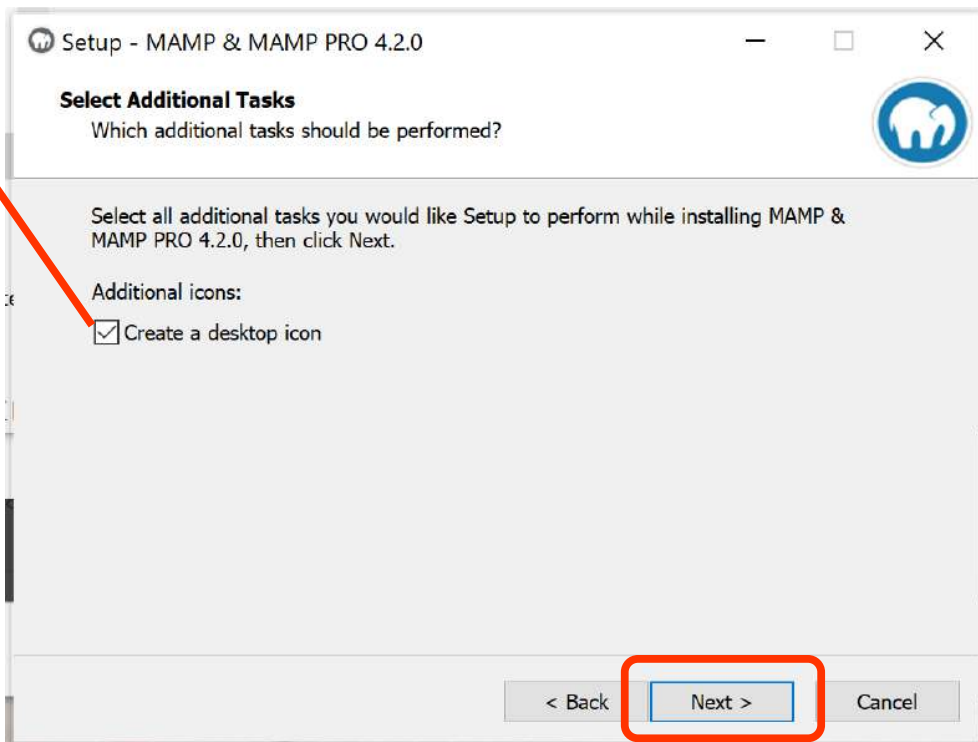




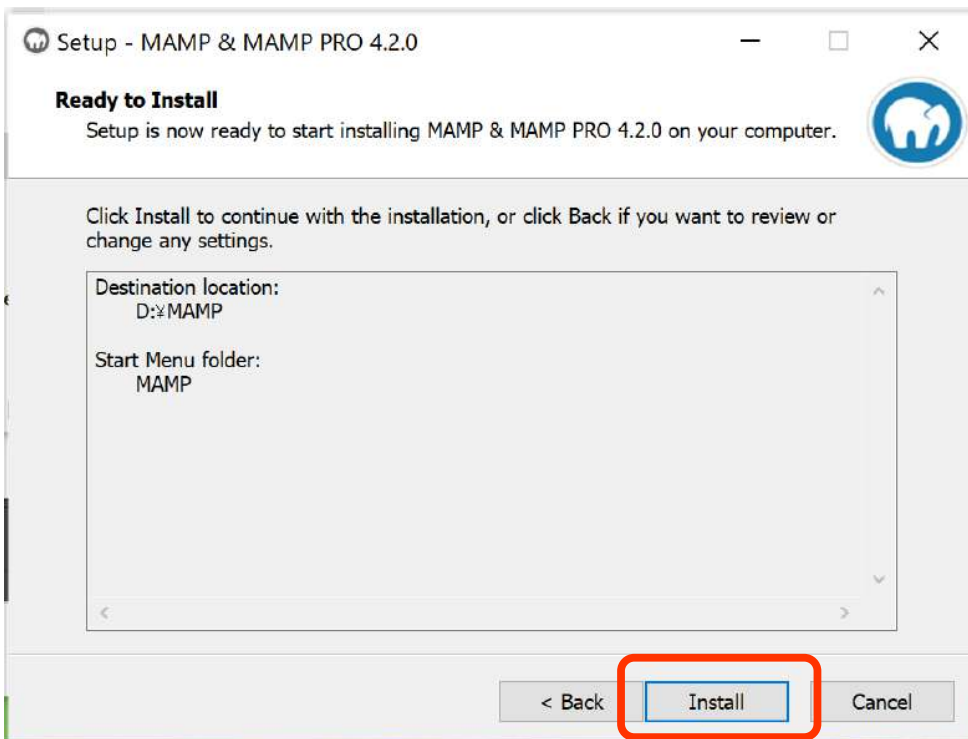
スタートメニューにショートカットを追加する先が MAMP フォルダでいいかどうかの確認ですので、そのまま「Next」をクリックしてください。



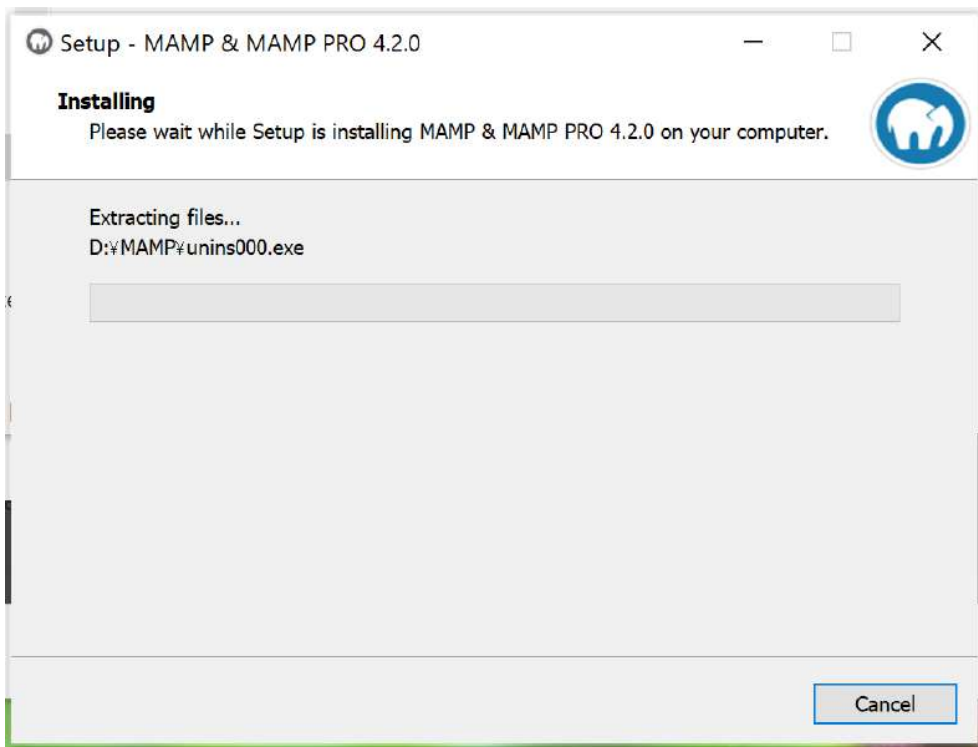
デスクトップアイコンは不要なので、チェックを外して「Next」をクリックしてください。必要な場合はチェックが入ったまま「Next」をクリックしてください。



設定の確認ができれば、「Install」をクリックしてください。

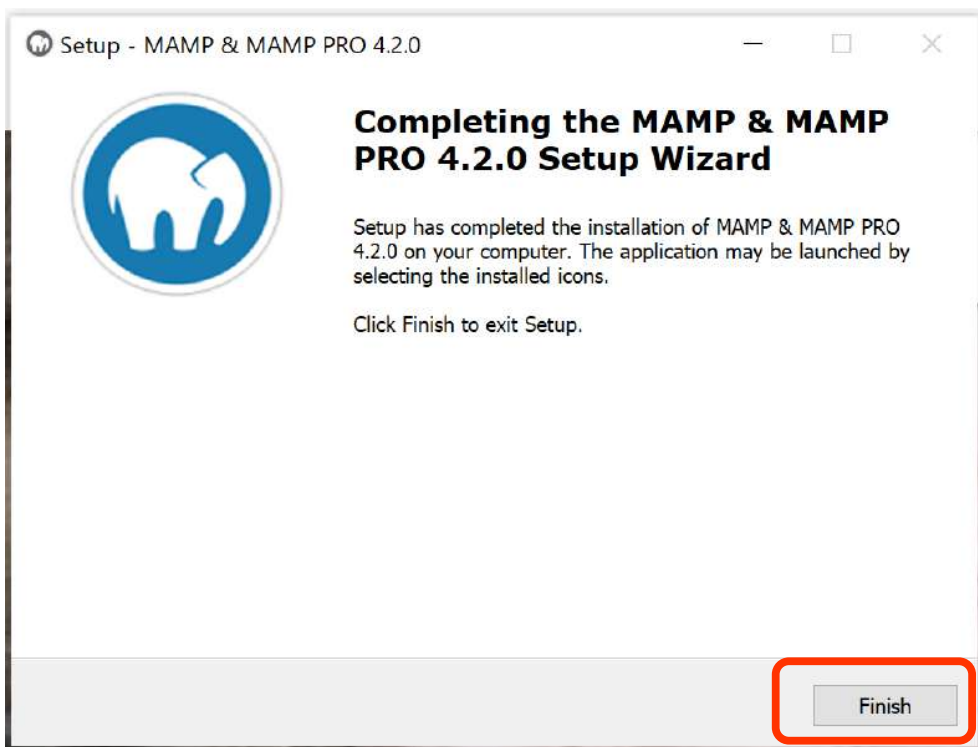


インストール作業が進みますので、待ちます。



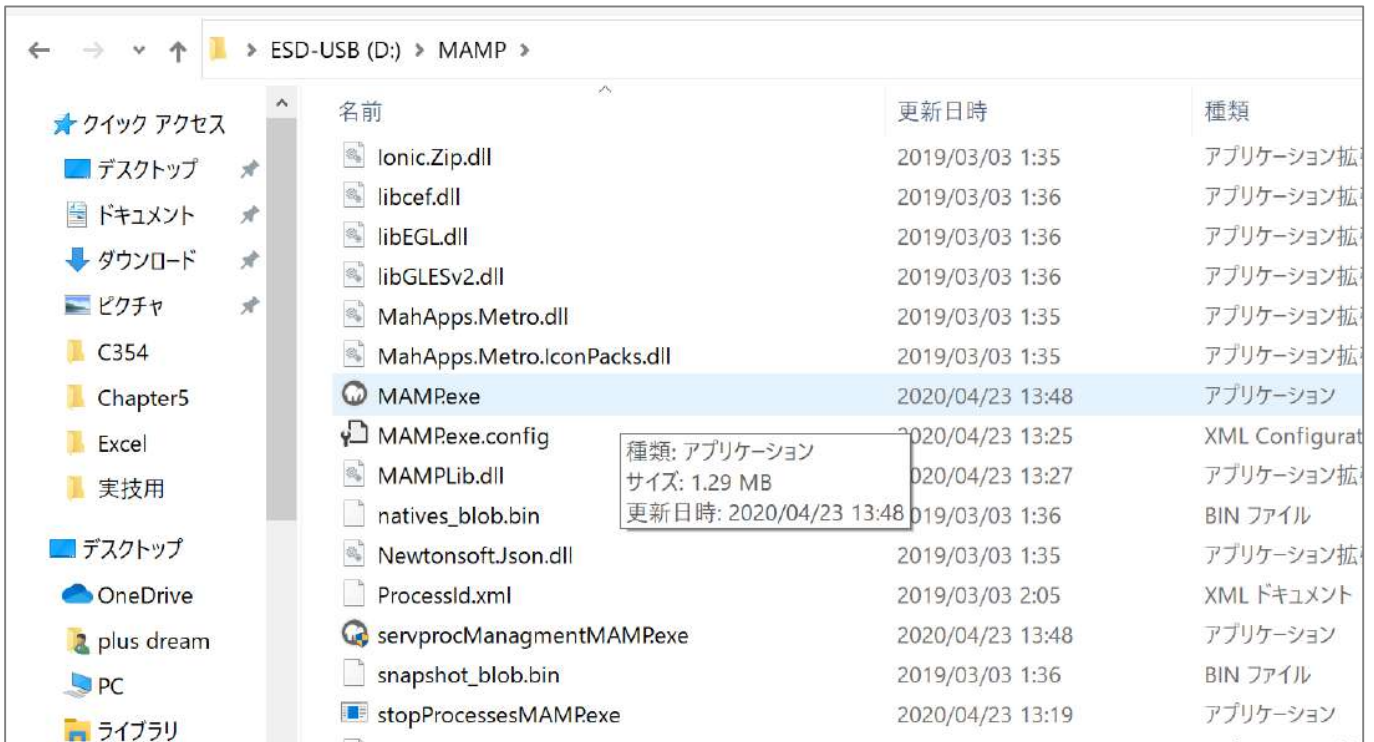
※インストール先が USB メモリの場合は（特に USB の規格が青色の端子ではない 3.0 未満の場合）結構時間がかかります。数分～十数分程度はあり得ると見越しておきましょう。

インストールが完了したら、「Finish」をクリックしてください。

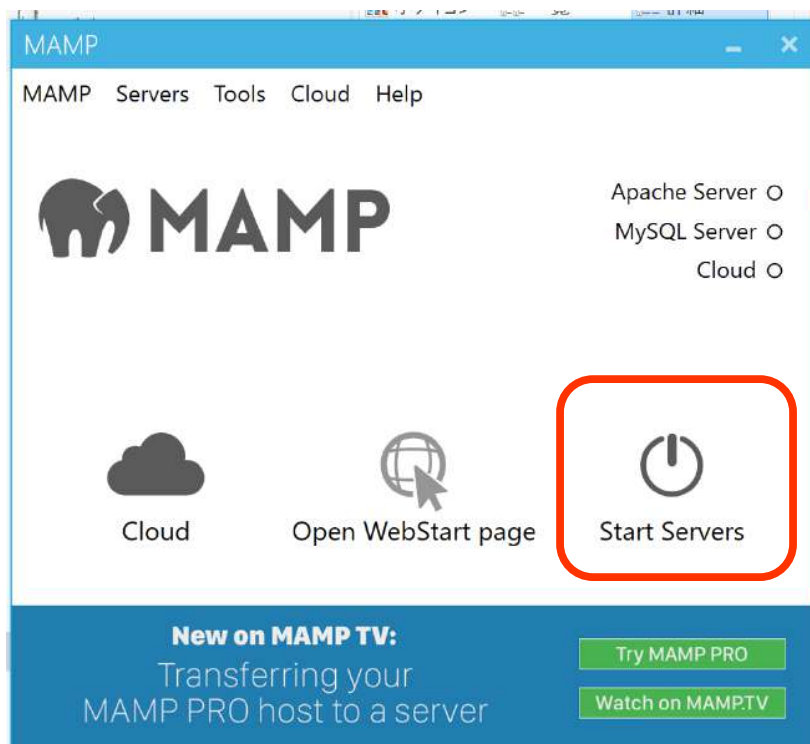


1-1-3 MAMP の起動

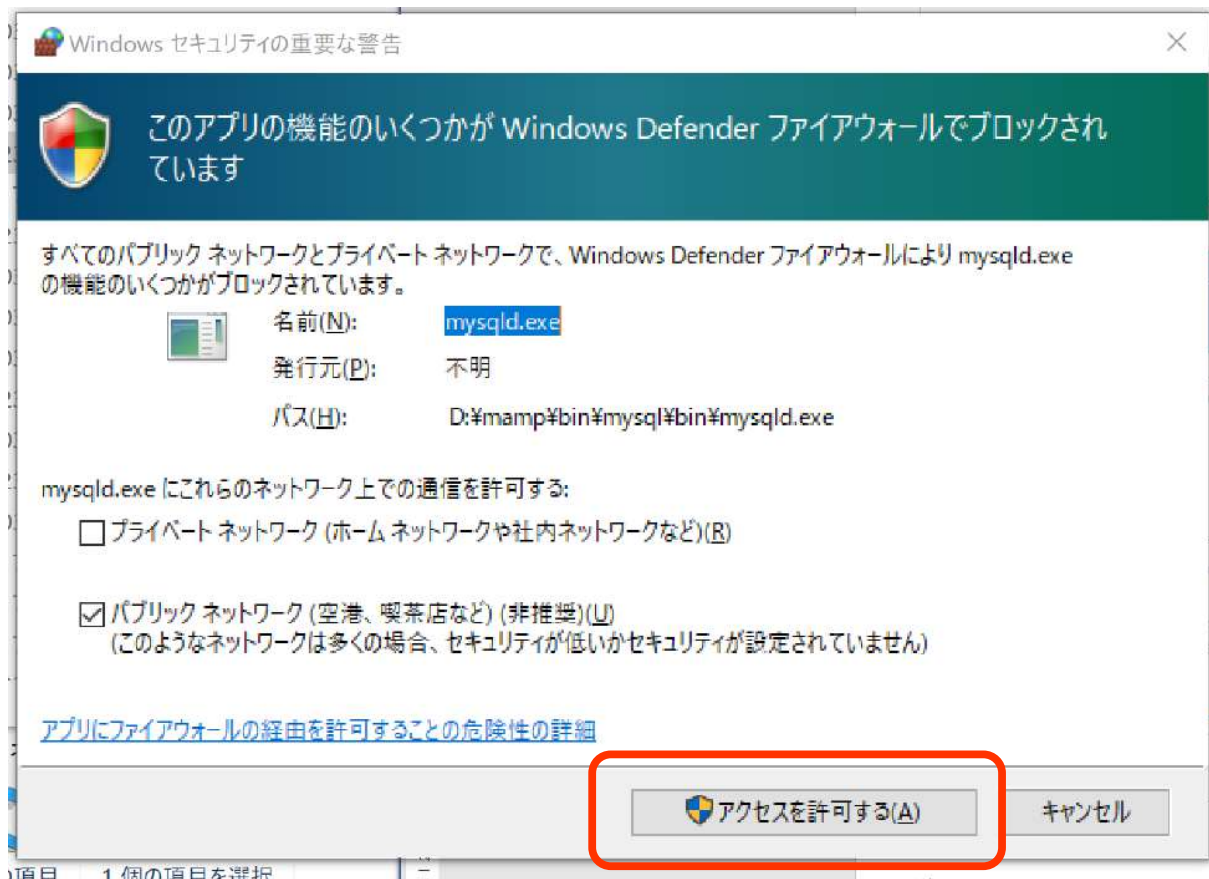
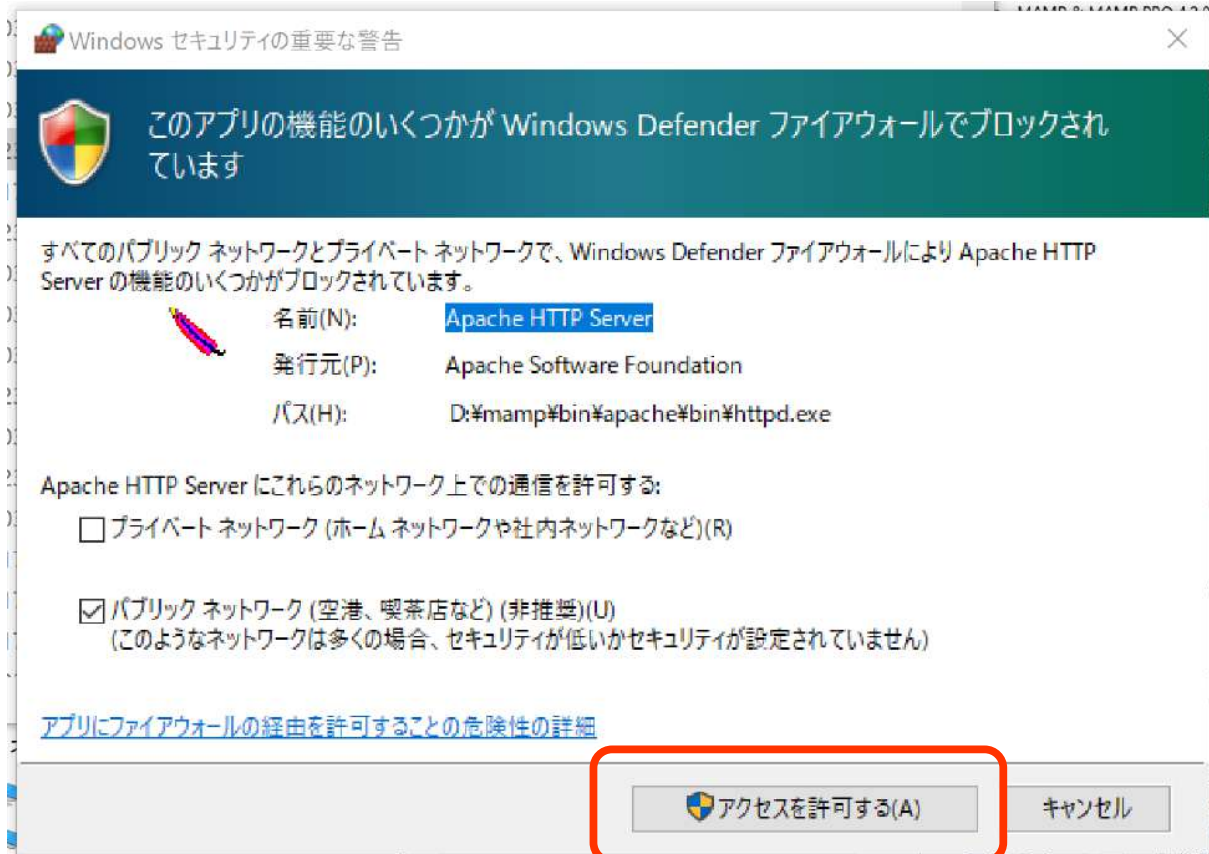
インストール先のフォルダ内に「MAMP.exe」がありますので、起動するときはこれをダブルクリックしてください。



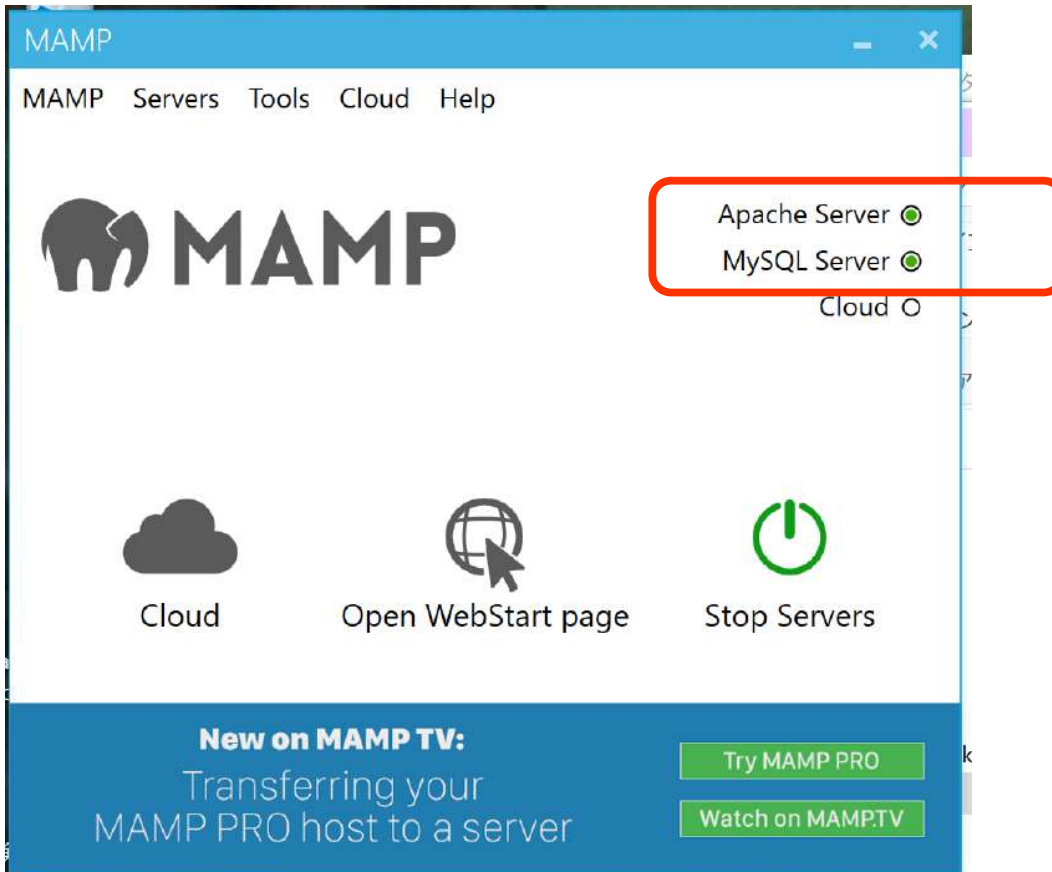
「Start Servers」をクリックすると、Apache Server (Web サーバー) と MySQL Server (データベース) が起動します。



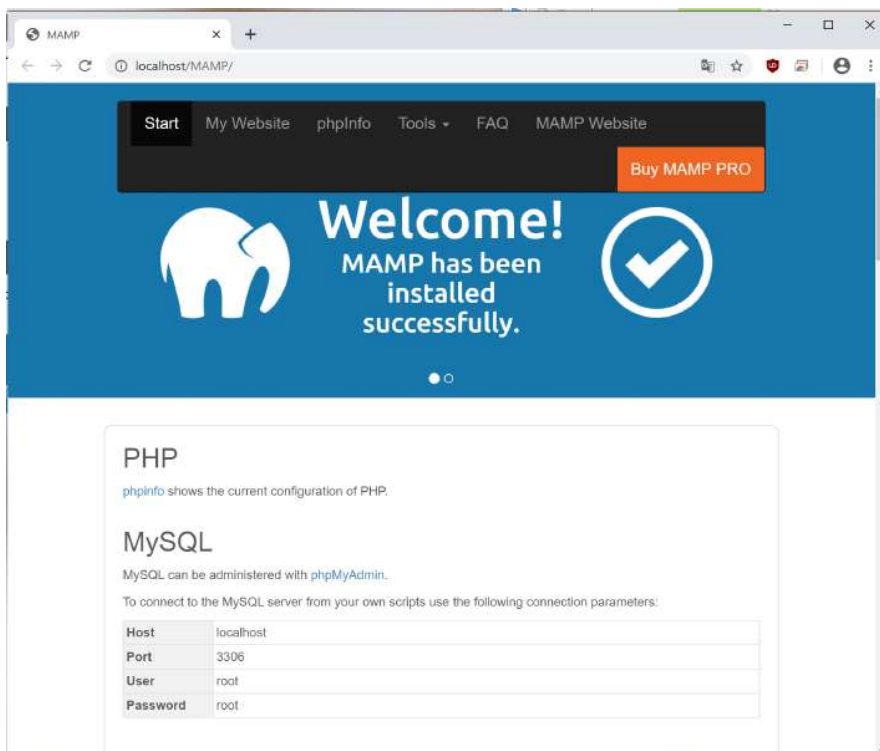
下図のような表示が出たら、「アクセスを許可する」をクリックしてください。



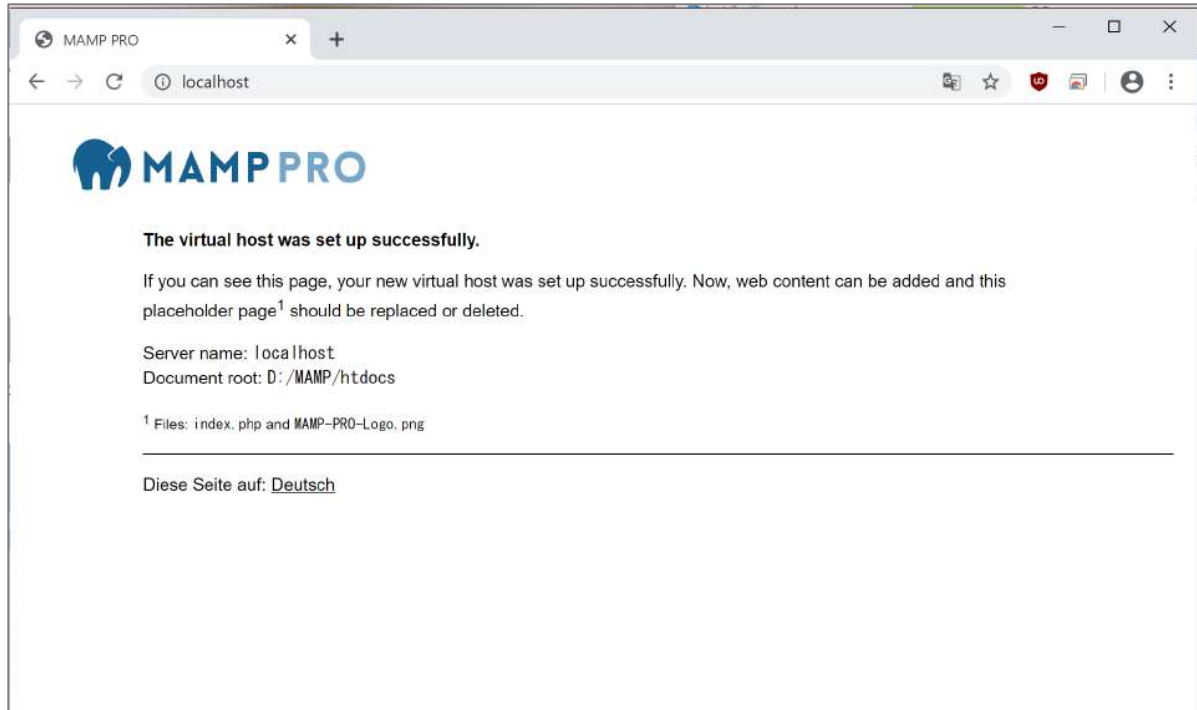
Apache と MySQL の両方が緑色になれば、両方とも起動している状態です。



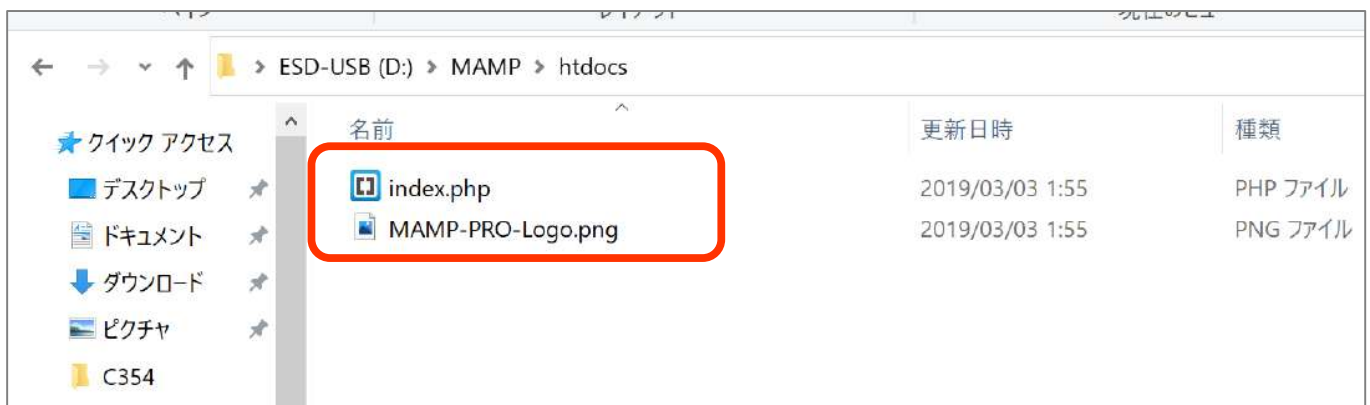
「Open WebStart page」をクリックすると、サーバーで動いている各種情報がブラウザで表示されます。



アドレスを「localhost」だけにすると、以下のような表示になります。



MAMP をインストールしたフォルダ内の「htdocs」フォルダが Document root です。このファイルが見えています。



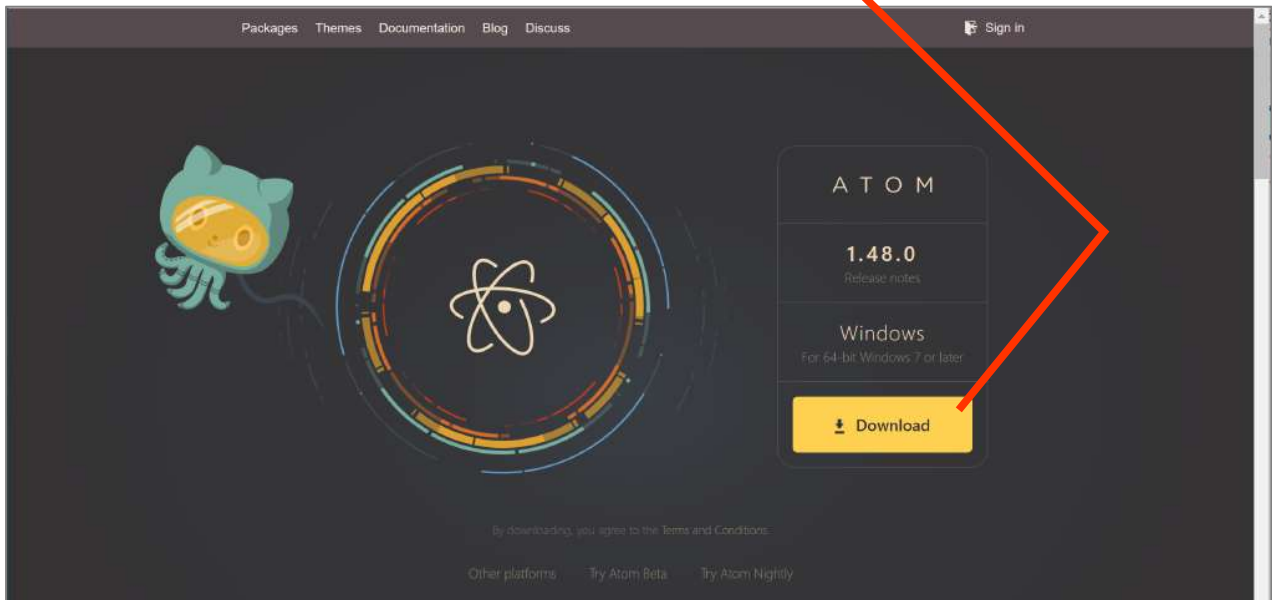
html や php などの Web サイトを構成するファイルはこのフォルダ内に置きます。

1-2 テキストエディタ ATOM の入手とインストール

1-2-1 パソコン本体にインストールする場合

ATOM のサイト (<https://atom.io/>) に接続してください。

「Download」をクリックしてください。



ダウンロードが進みます。完了したら、ダウンロードフォルダを開いてください。

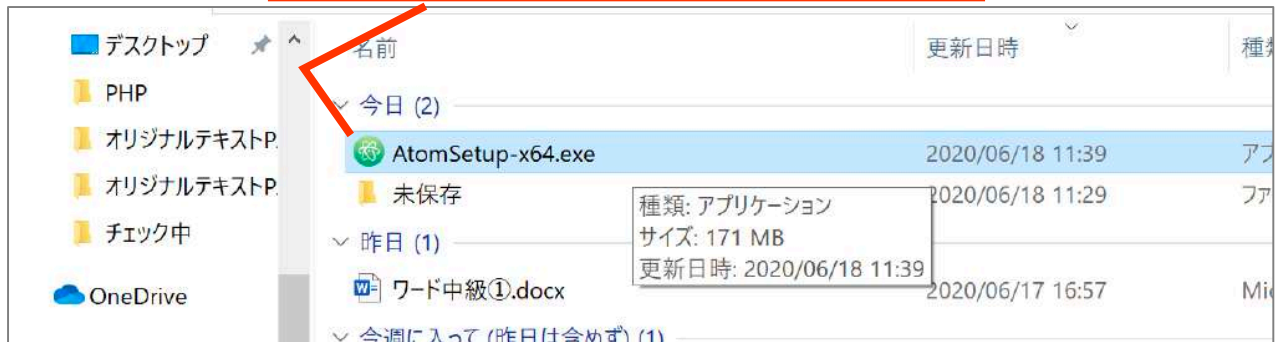


↑ をクリックして、



「フォルダを開く」をクリックしてください。

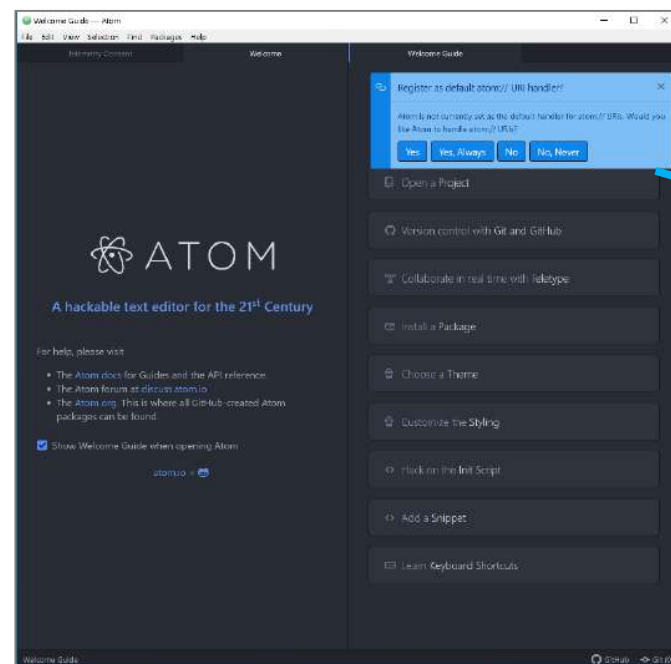
「AtomSetup-x64.exe」をダブルクリックしてください。インストーラが起動します。



インストールが進みますので、待ちましょう。



数分かかる場合もあります。



インストールが終わると、左図のように起動します。

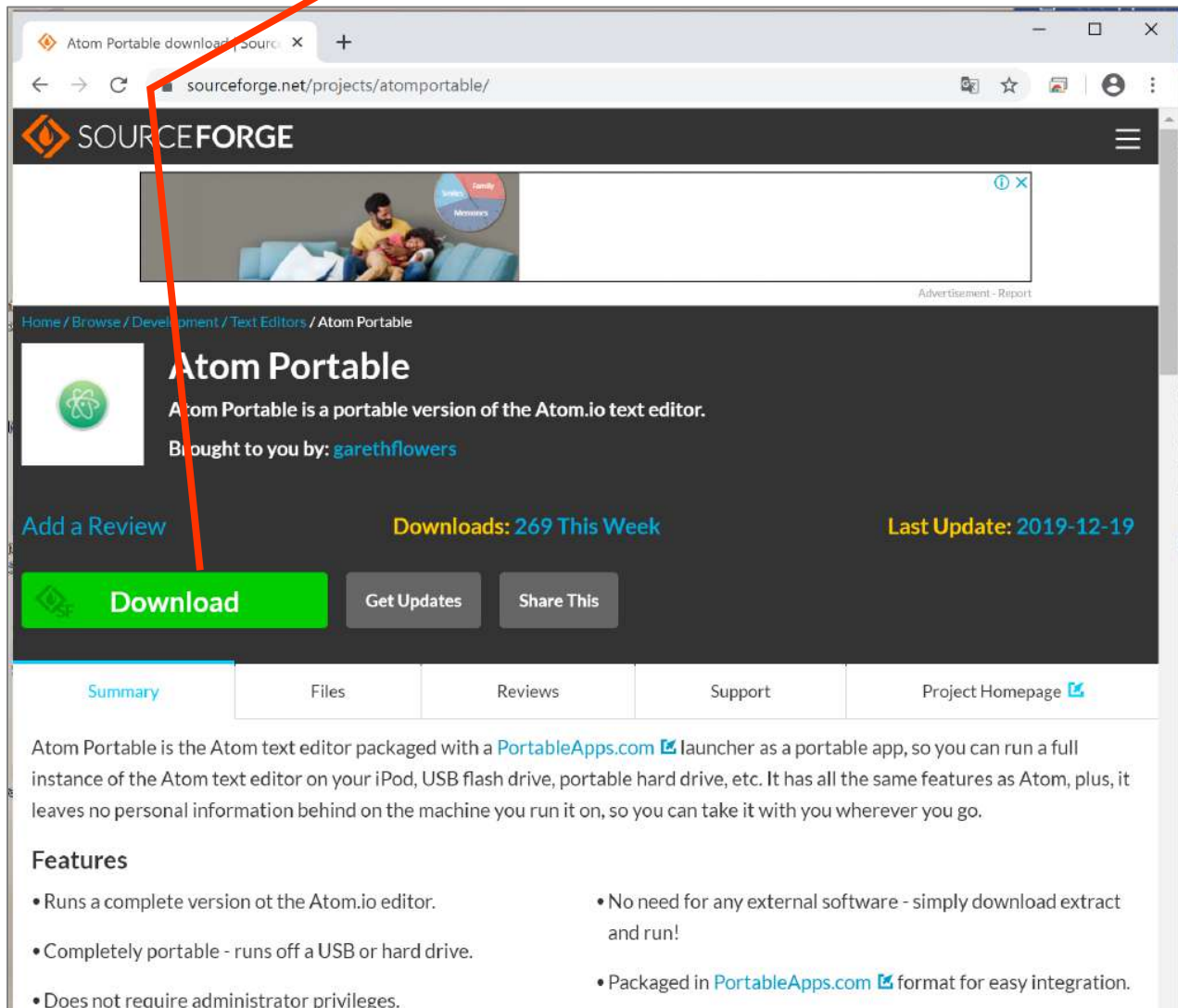
この青いウィンドウは×印で閉じてください。いちいち表示されてウザい場合は、「No Never」を選んでください。

メニューを日本語化したい場合は、1-2-3へ進んでください。

1-2-2 USBメモリにインストールする場合（ポータブル版）

https://sourceforge.net/projects/atomportable/
にアクセスしてください。

「Download」をクリックしてください。



The screenshot shows the SourceForge project page for Atom Portable. The page includes a navigation bar, a header with the SourceForge logo, and a main content area. The main content area features a large green 'Download' button, a 'Get Updates' button, and a 'Share This' button. Below the buttons, there are tabs for 'Summary', 'Files', 'Reviews', 'Support', and 'Project Homepage'. The 'Summary' tab is selected, showing a description of Atom Portable and a list of features.

Atom Portable is a portable version of the Atom.io text editor. Brought to you by: [garethflowers](#)

Downloads: 269 This Week Last Update: 2019-12-19

[Download](#) [Get Updates](#) [Share This](#)

[Summary](#) [Files](#) [Reviews](#) [Support](#) [Project Homepage](#)

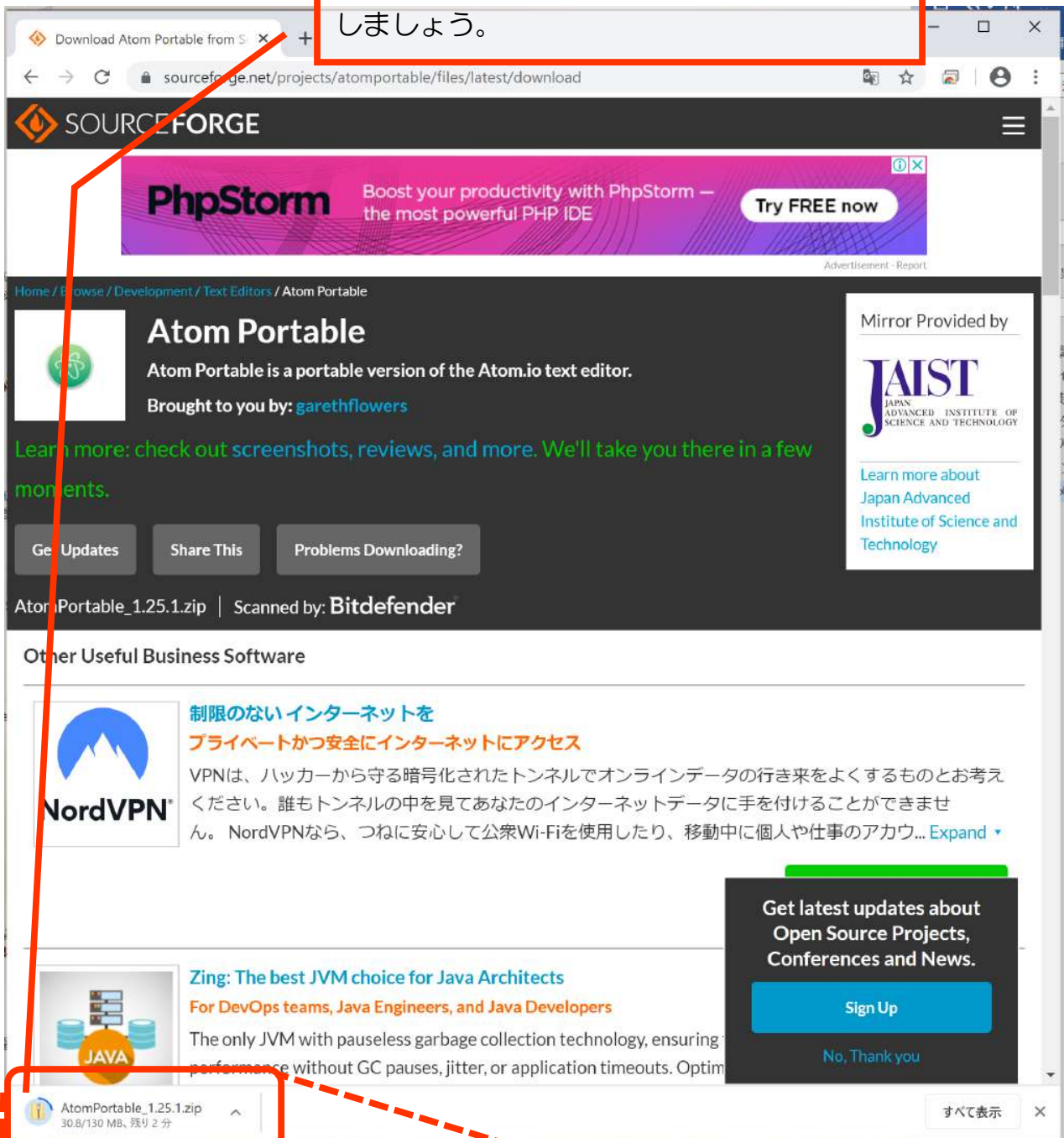
Atom Portable is the Atom text editor packaged with a [PortableApps.com](#) launcher as a portable app, so you can run a full instance of the Atom text editor on your iPod, USB flash drive, portable hard drive, etc. It has all the same features as Atom, plus, it leaves no personal information behind on the machine you run it on, so you can take it with you wherever you go.

Features

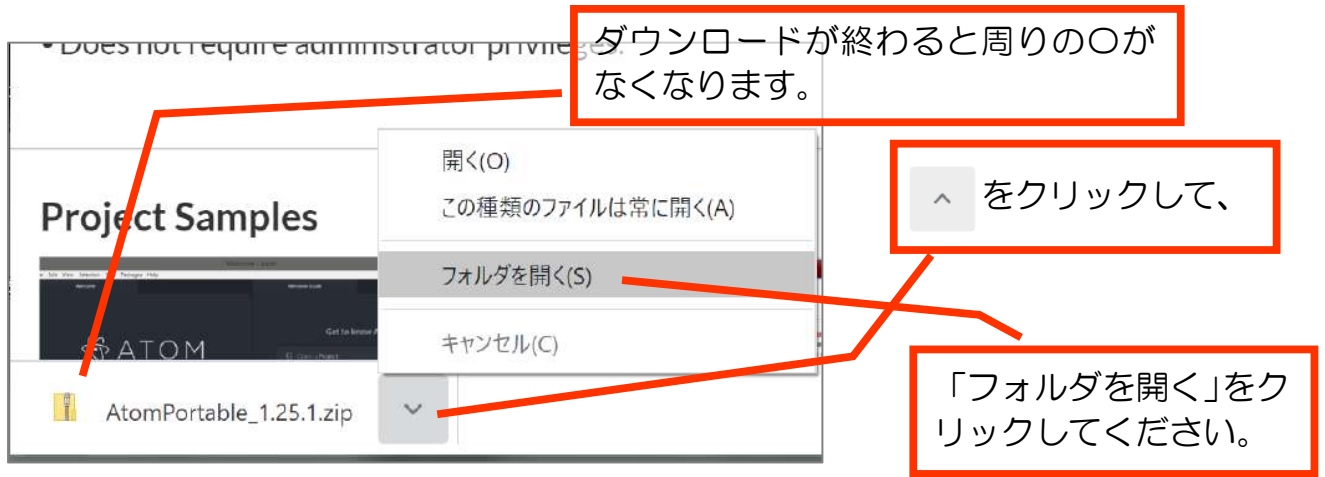
- Runs a complete version of the Atom.io editor.
- Completely portable - runs off a USB or hard drive.
- Does not require administrator privileges.
- No need for any external software - simply download extract and run!
- Packaged in [PortableApps.com](#) format for easy integration.

様々な表示に惑わされないで、そのままお待ちください。

ダウンロードが始まります。この部分を確認
しましょう。



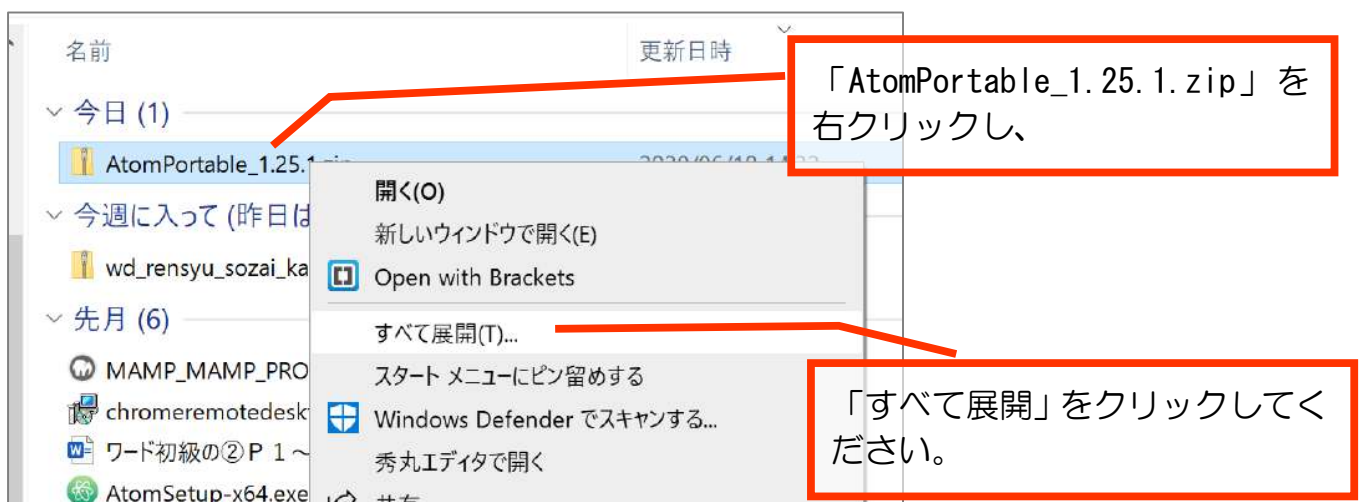
ダウンロード中はこのような表示です。



「AtomPortable_1.25.1.zip」というファイルがあることを確認します。
 (「1.25.1」はバージョン番号(2020年6月17日時点)のため、ダウンロードする日時やタイミングによっては違うこともあります。)

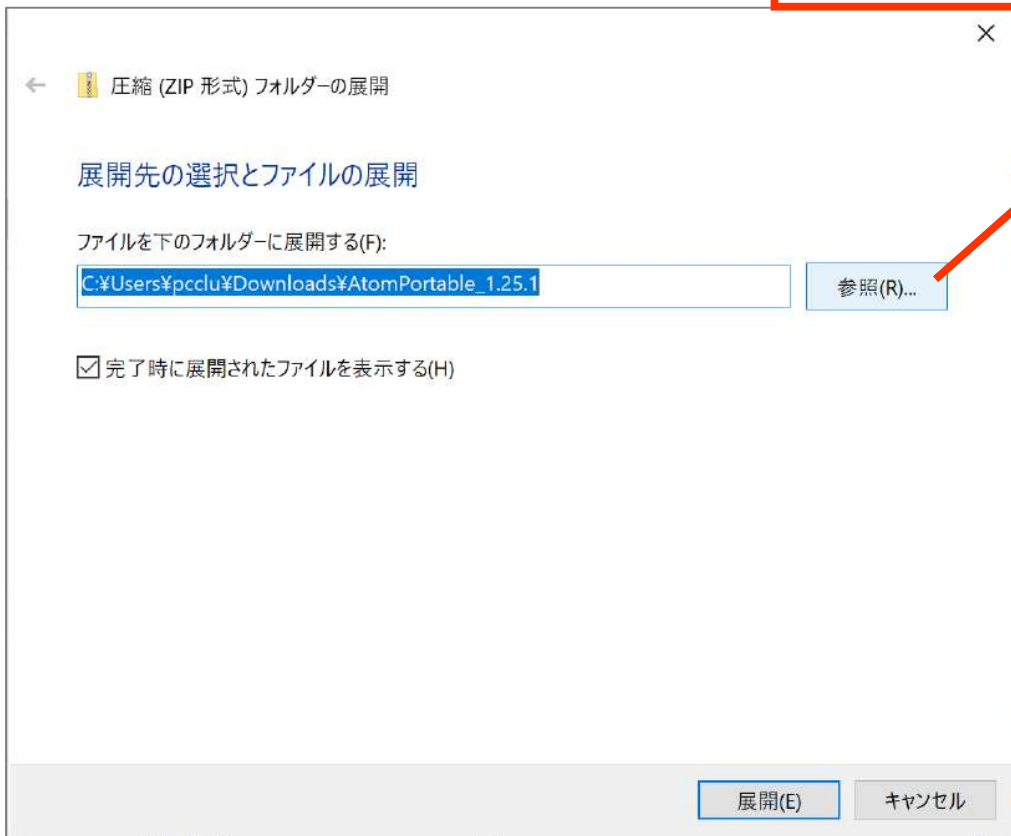


このファイルは「ZIP形式」で圧縮されています。
 次の手順で展開(解凍ということもあります)してください。



展開先を USB メモリにします。
 (USB メモリが接続されている前提です。)

「参照」をクリックしてください。

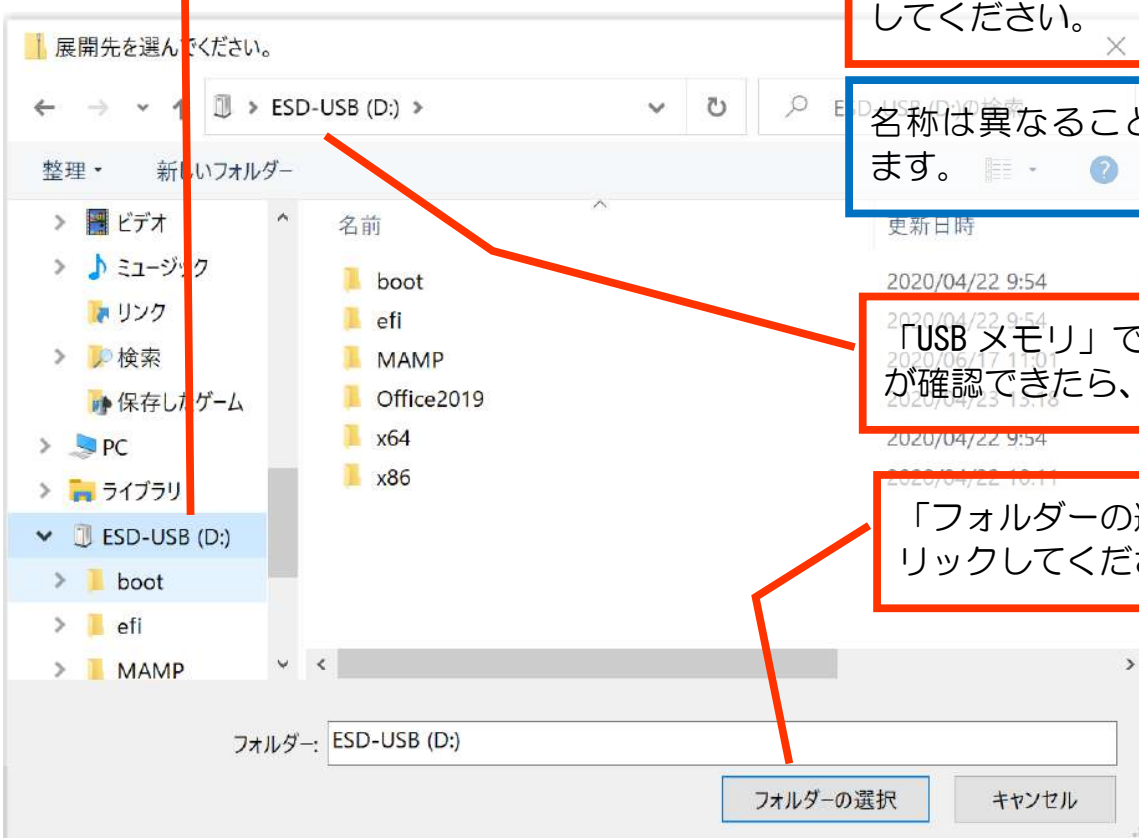


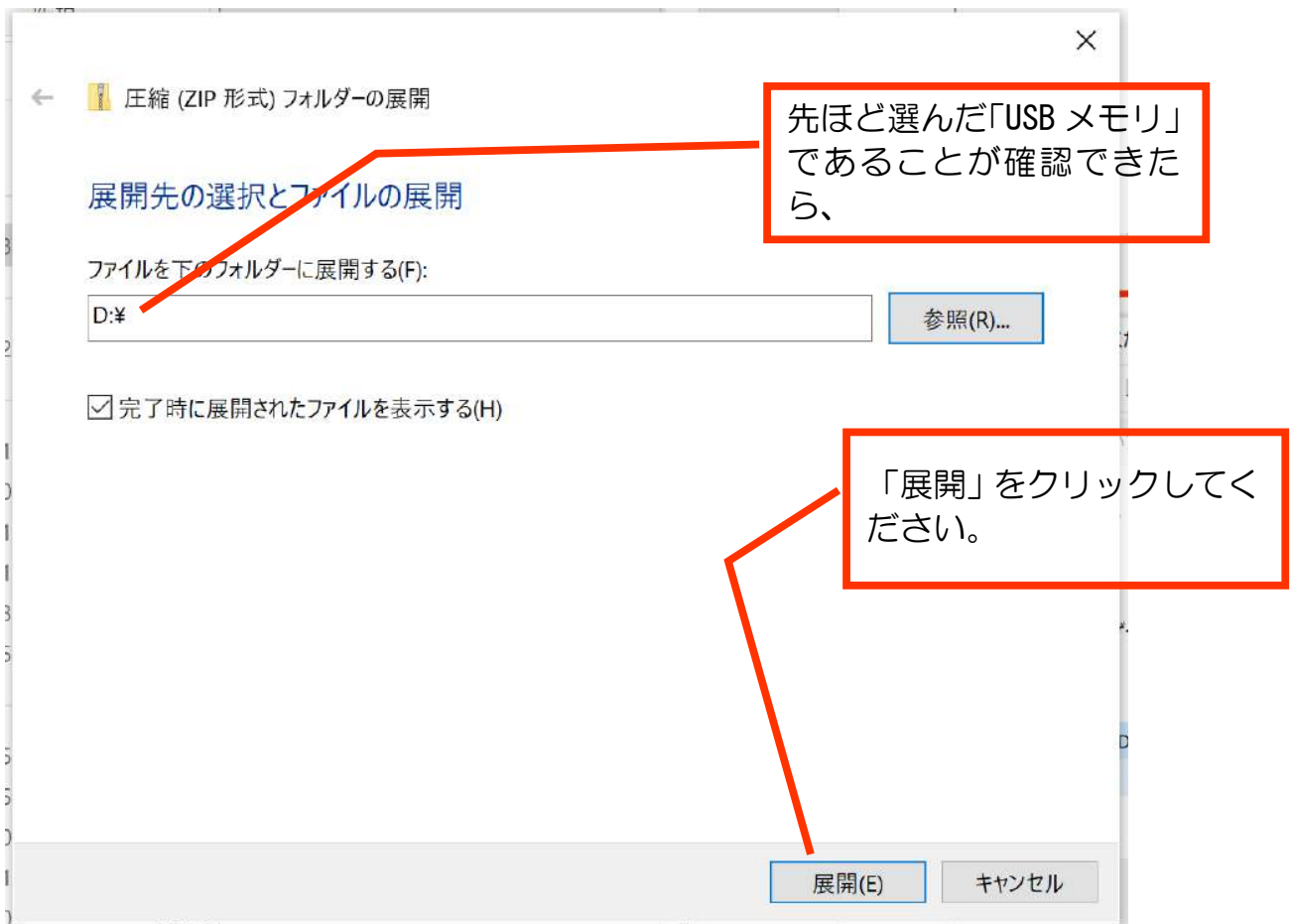
「USB メモリ」をクリックしてください。

名称は異なることがあります。

「USB メモリ」であることが確認できたら、

「フォルダの選択」をクリックしてください。



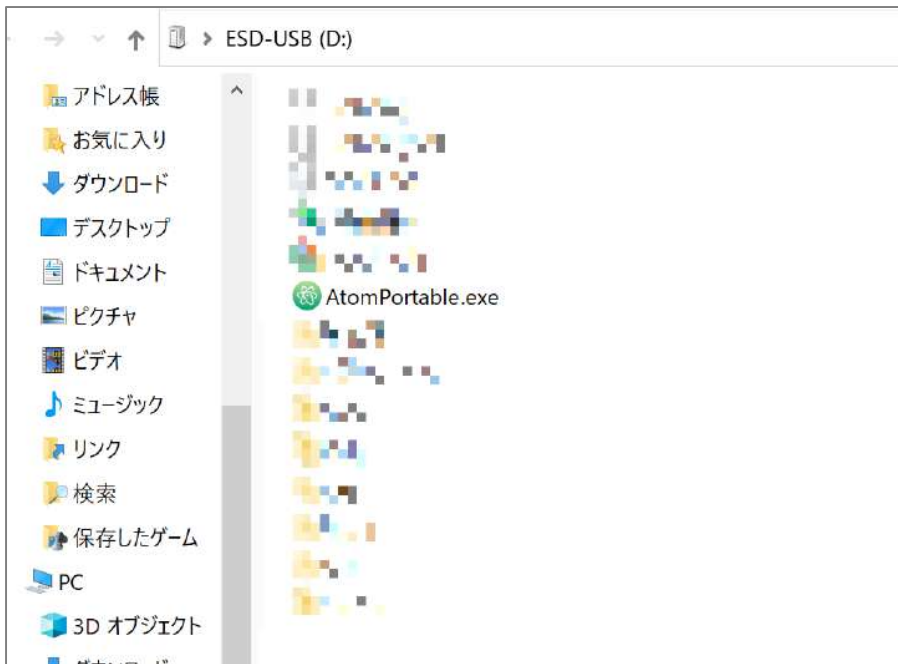


展開中、待ちましょう。

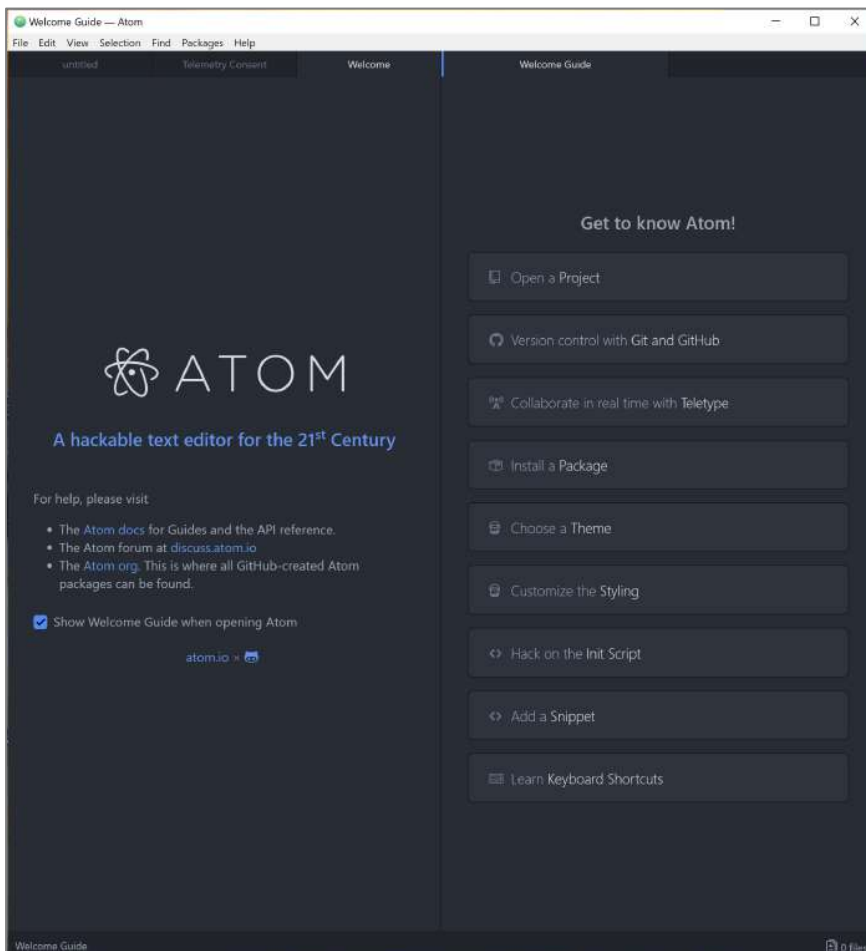


数分かかる場合もあります。

展開が終わると、展開された「AtomPortable.exe」があるフォルダ内が表示されます。



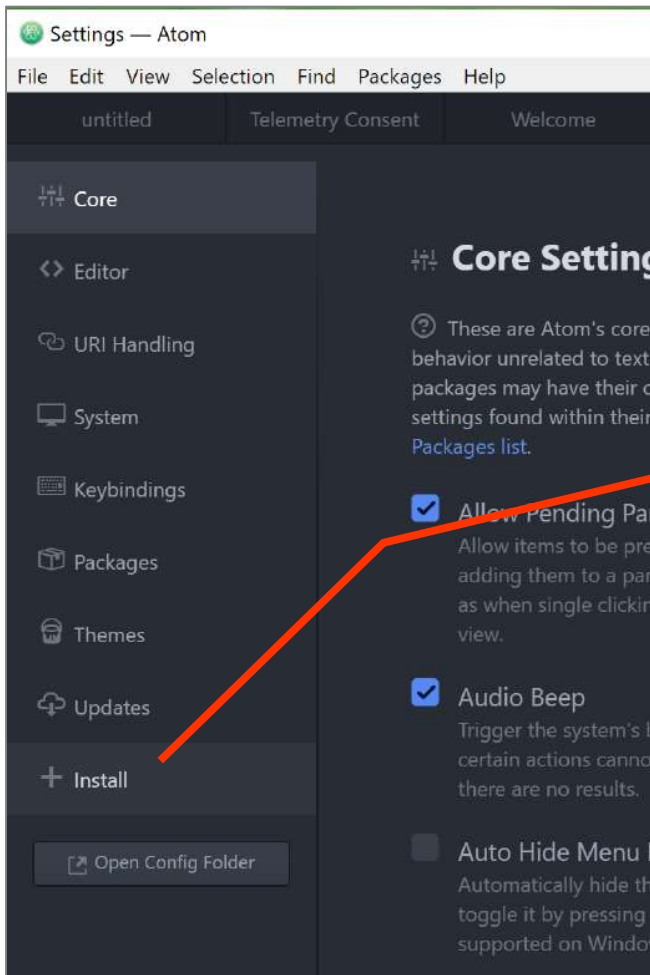
「AtomPortable.exe」をダブルクリックすると、起動して次のようなウィンドウが表示されます。



1-2-3 ATOM の日本語化

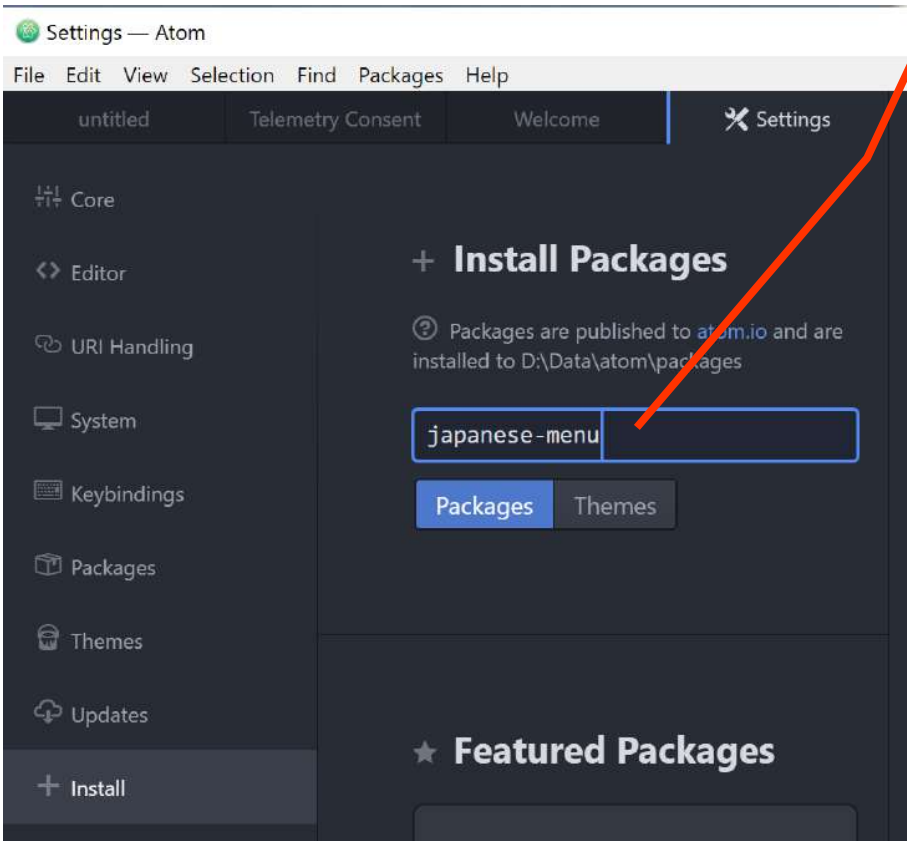
メニューを日本語化しましょう。



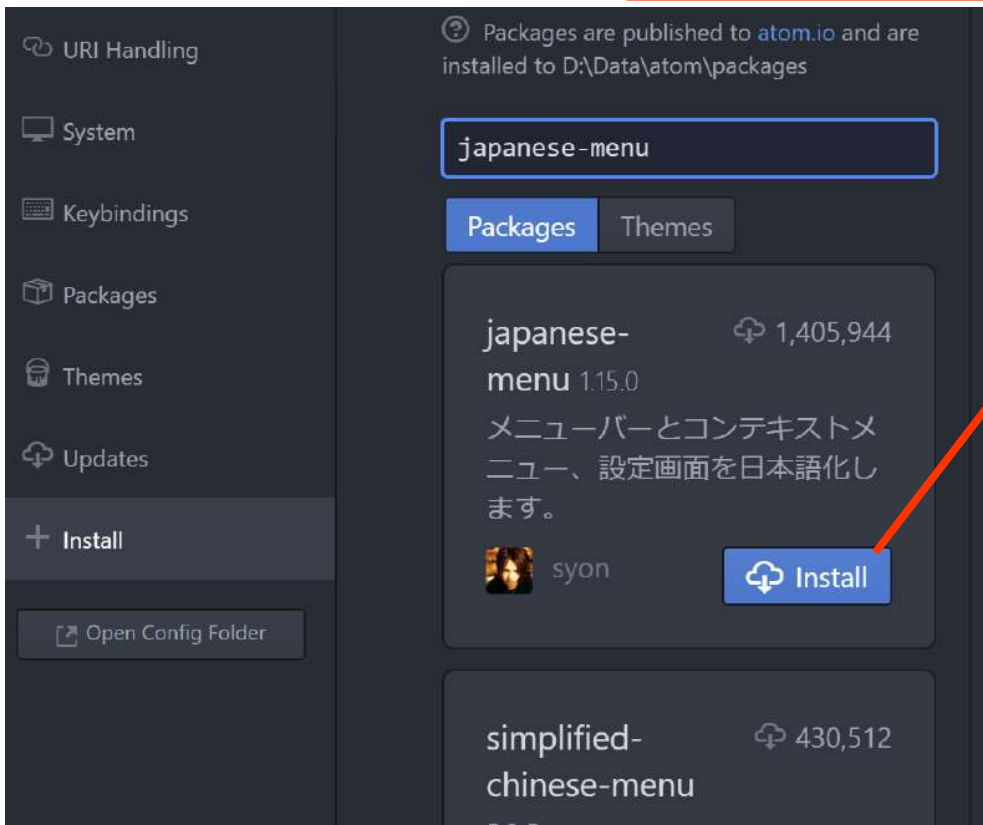


「Install」をクリックしてください。

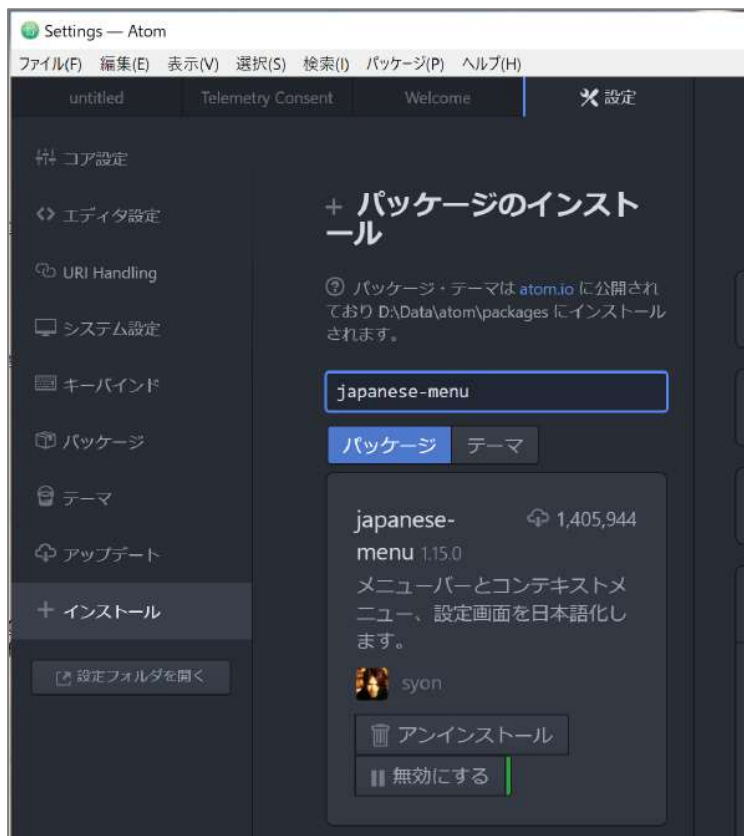
「japanese-menu」と打ち込んで、Enter キーを押してください。



「japanese-menu」となっている欄の「install」をクリックしてください。



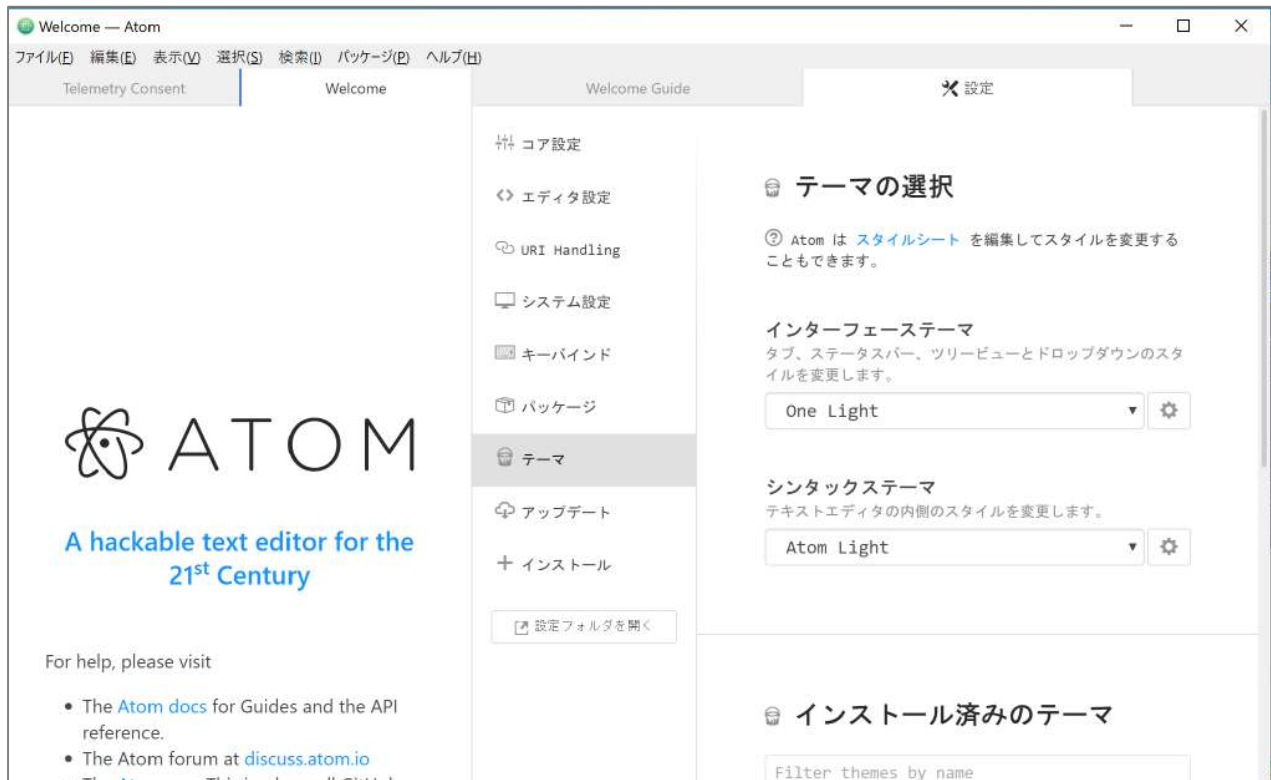
少し待つと、メニューなどが日本語化されます。



【参考】テーマ（見た目）の変更

このテキストでは、背景が白いテーマにしています。

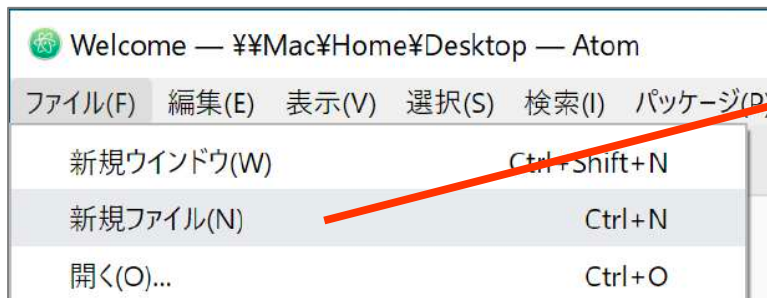
設定>テーマ>テーマの選択にて、「インターフェーステーマ」「シンタックステーマ」を Light 系にすると背景が白（または白っぽい）ものになります。



お好みのテーマをお使いください。

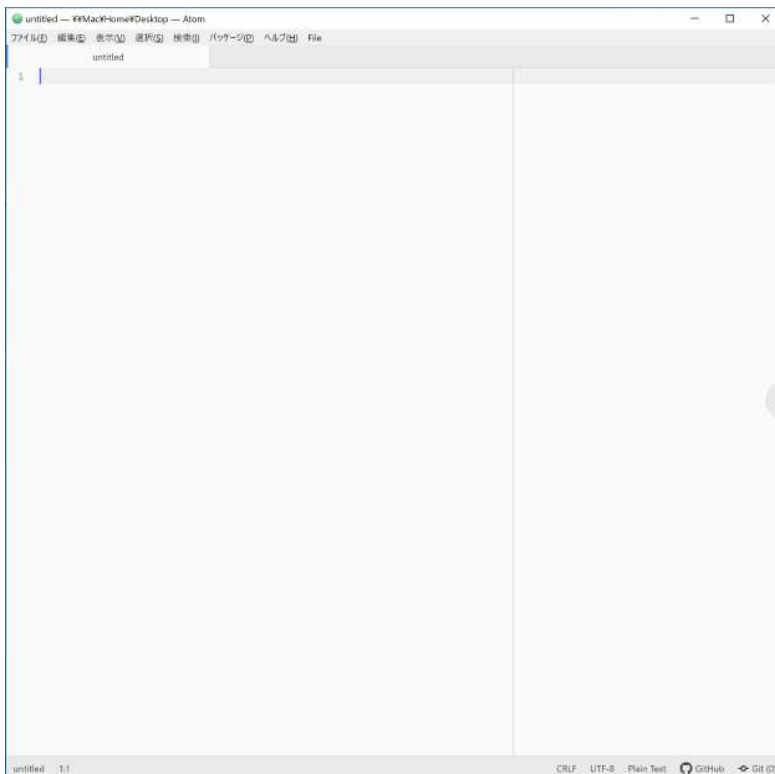
1-3 Atom で新規ファイルを作り、保存する

次の章で HTML を学びますので、準備として新規ファイルを作成しましょう。Atom を起動した状態で、新規ファイルを作成してください。



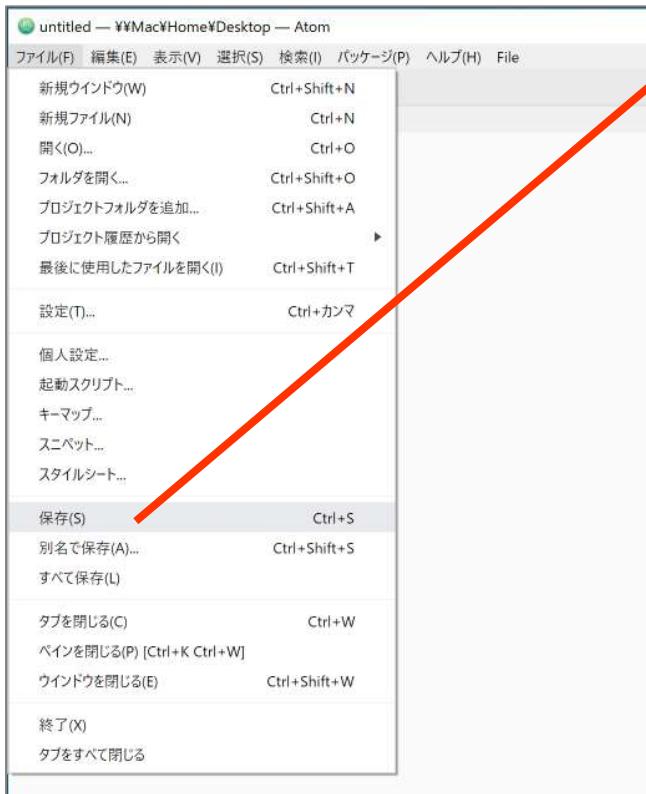
① [ファイル]から[新規ファイル]をクリック。

下図のように空白のファイルができあがります。



左図では、余計なタブは閉じています。

任意の場所に保存してください。

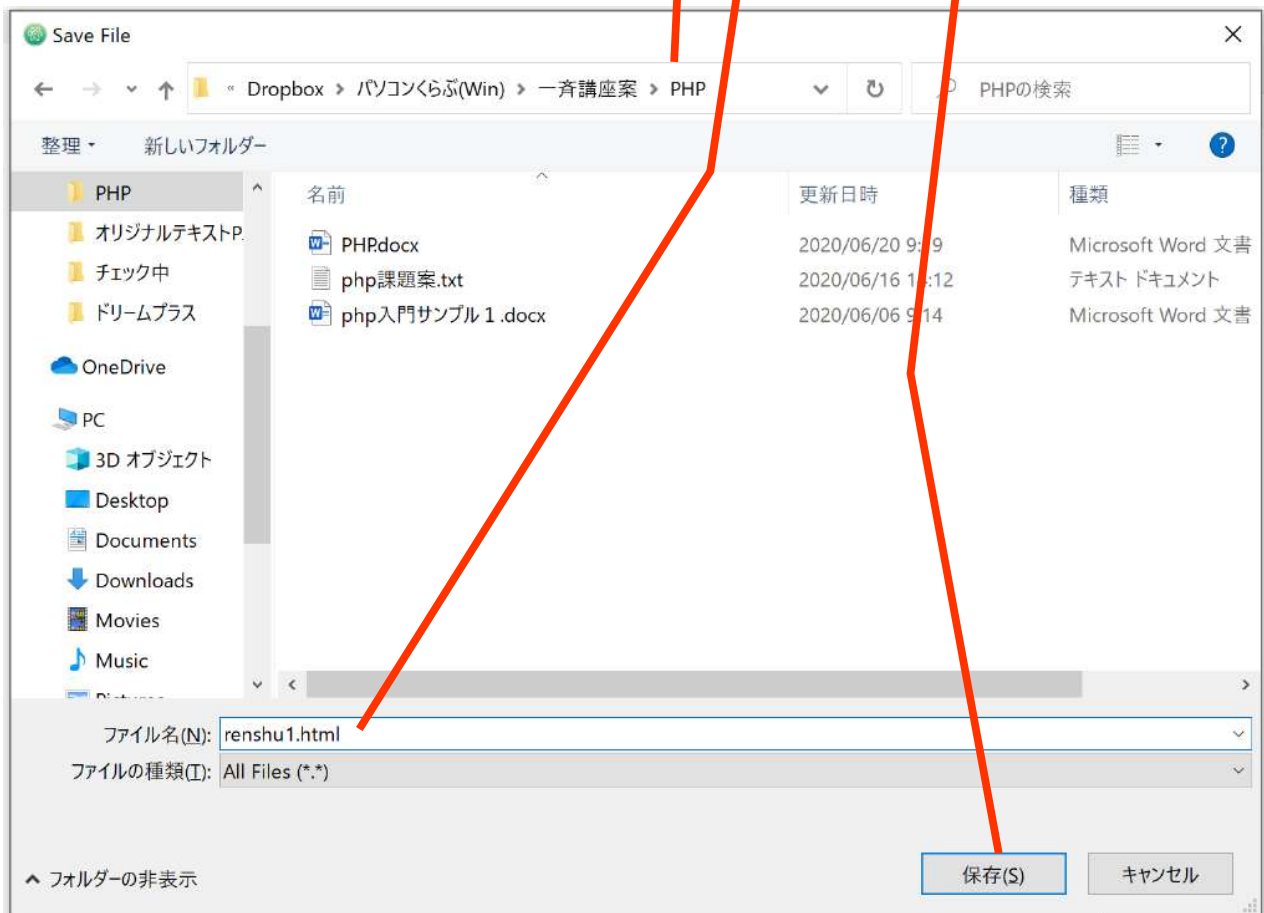


② [ファイル] から [保存] をクリック。

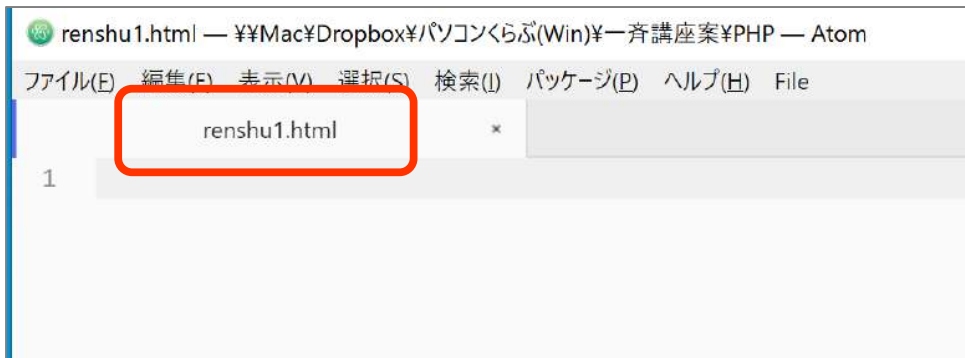
③ 保存先はお好みの場所にしてください。
例: Document 内に一つフォルダを作り、その中にする。

④ ファイル名を [renshu1.html] にしてください。

⑤ [保存] をクリックしてください。



名前がついて保存されたファイルは、タブの部分にファイル名が確認できます。



第2章 HTMLの基礎

Web サイトや Web アプリは HTML で記述されます。
この章では、その基本を学びましょう。

前章で `renshu1.html` というファイルを作成していることを前提として進めます。
作成していない方は、前章に戻って作成してください。

2-1 HTML ファイル

① 「html」と打ち、エンターキーを押してください。



下図のように、HTML の主要構成要素が補完されます。



(ミニ解説)

<html>

<head>

設定や各種情報などを書く場所

</head>

<body>

表示したいことを書く場所

</body>

② 「lang = “en”」の「en」を「ja」に書き換えてください。

```

renshu1.html
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja" dir="ltr">
3 <head>
4 <meta charset="utf-8">
5 <title></title>

```

【参考】

lang="ja" ブラウザに対して、使用している言語が日本語であることを認識させる
dir="ltr" ページ全体の書字方向が「左から右へ」であることを示す。

【解説】

<head>から</head>の間に書かれたものは、ブラウザでは見えません。
各種設定などを記述する領域です。

<meta charset="utf-8">

ブラウザに文字コード情報を明示的に送る。文字化け防止。

ブラウザで目に見える部分は、<body>と</body>の間に書きます。

【解説】タグ

<html></html>や<body></body>など、<〇〇>を「タグ」といいます。

今後、html タグ、head タグ、meta タグ、body タグ、・・・のように「〇〇タグ」という呼び方を使いますので、慣れていきましょう。

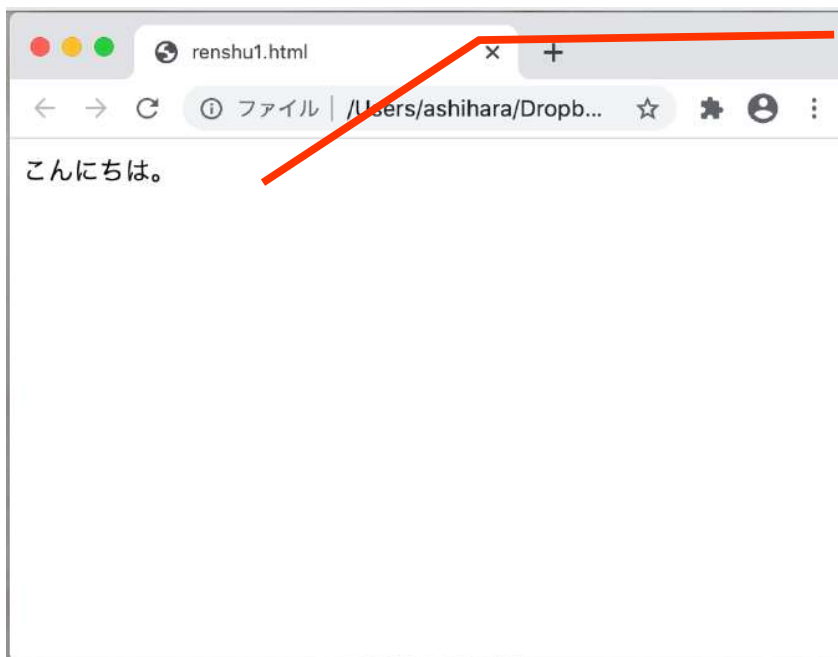
2-2 HTML の基礎

2-2-1 単純に文字を表示する

下図のように、`<body>`と`</body>`の間に「こんにちは。」と記述してください。

```
renshu1.html
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja" dir="ltr">
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title></title>
6   </head>
7   <body>
8     こんにちは。
9   </body>
10 </html>
11
```

上書き保存して、ブラウザで見てください。



このように見れば
OKです。

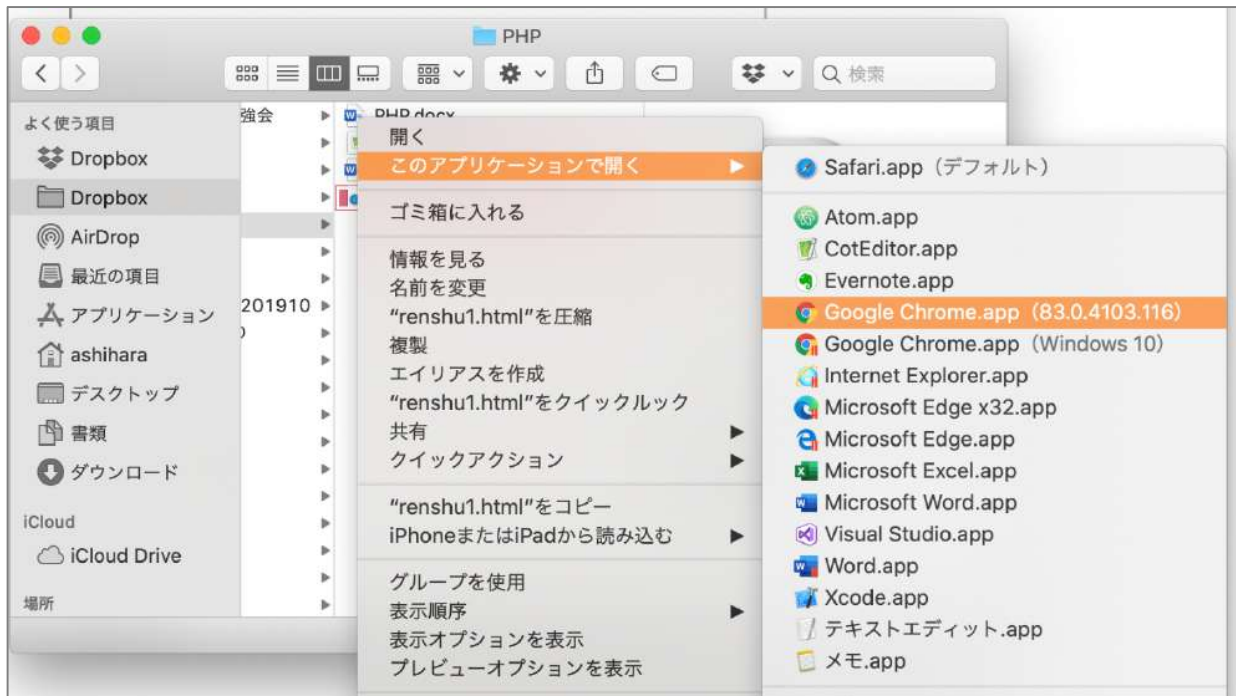
ブラウザで見る方法については、次のページの【参考】を御覧ください。

「HTML ファイルをブラウザで見る」だけであれば、Web サーバー（MAMP）は必要ありません。

【参考】ブラウザでHTMLファイルを直接見る方法

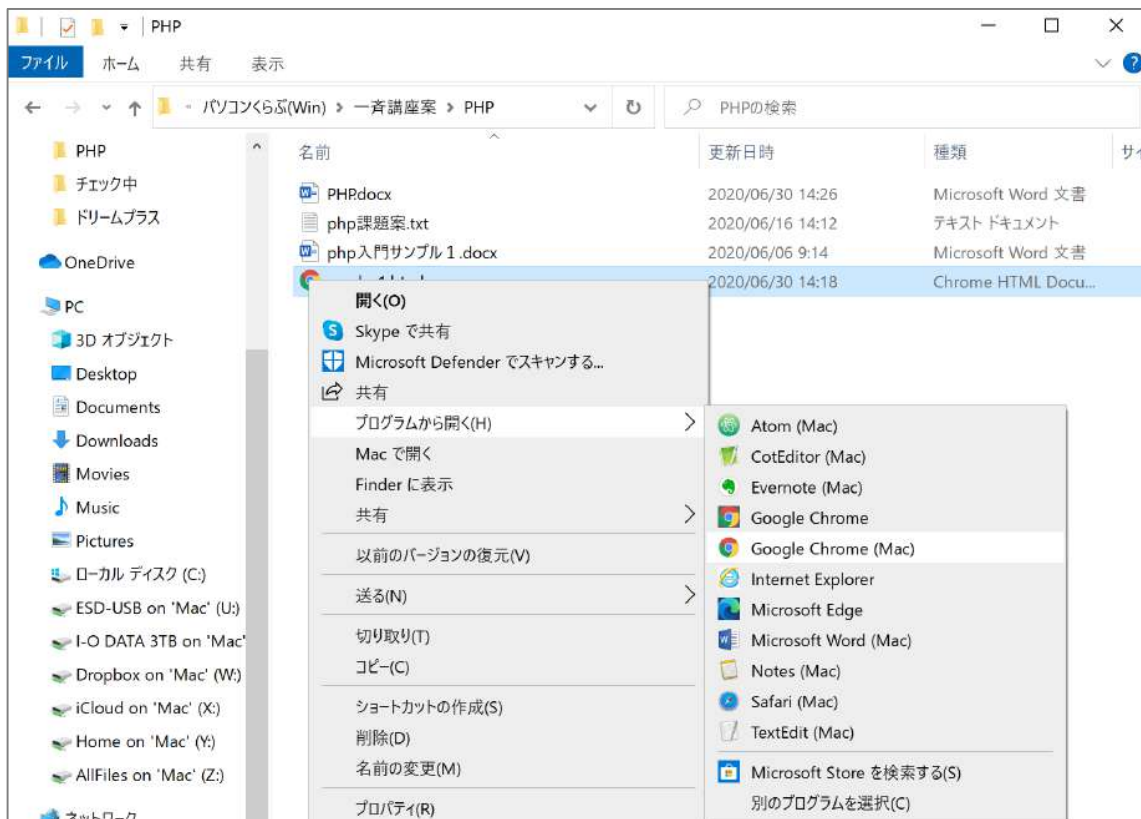
●Mac の場合

開きたいファイルを右クリック→このアプリケーションで開く→開きたいアプリ（例では Google Chrome）



●Windows の場合

開きたいファイルを右クリック→プログラムから開く→開きたいアプリ（例では Google Chrome）



2-3 入力フォーム Form タグ

入力欄のあるページを作ってみましょう。

- ① 新規の html ファイルを「login.html」という名前で作ってください。（新規ファイルを作って保存する方法は、1-3を参考にしてください。）
- ② html タグを打ち込み、HTML の主要構成要素が入力された状態にしてください。（2-1を参考にしてください。）

```

renshu1.html | login.html
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja" dir="ltr">
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title></title>
6   </head>
7   <body>
8
9   </body>
10 </html>
11

```

Lang=" ja" にしておきましょう。

このようにできれば OK です。

- ③ body タグ内に Form タグを打ち込んでください。

```

6   </head>
7   <body>
8     <form class="" action="index.html" method="post">
9
10    </form>
11  </body>
12 </html>

```

- ④ form タグ内に「氏名」と打ち込んでください。

```

6   </head>
7   <body>
8     <form class="" action="index.html" method="post">
9     氏名
10    </form>
11  </body>

```


⑤ 続けて、`<input type="text">`と打ち込んでください。

```

8     <form class="" action="index.html"
9       氏名<input type="text">
10    </form>

```

⑥ login.html をブラウザで見てください。

このように表示されればOKです。

入力欄に入力できることを試してみましょう。

「氏名」と入力欄のスキマが詰まりすぎていることが気になる場合は、次のように「 」を追加してください。（※「 」は半角スペースをブラウザ上で表示するための呪文です。）

```

8     <form class="" action="index.html"
9       氏名&nbsp;<input type="text">
10    </form>

```

ブラウザで見ると、このようになります。

2-4 submit (登録) ボタン

① Form タグ内に次のように追記してください。

```

6     </neau>
7     <body>
8         <form class="" action="index.html" method="post">
9             氏名<input type="text">
10            <input type="submit" value="ログイン">
11        </form>
12    </body>
13 </html>

```

この部分を追加

② ブラウザで表示してください。
ログインボタンが表示できれば OK です。



【解説】

`<input type="submit" value="ログイン">`
では、次のような指定をしています。

type = "submit" 登録ボタン
value = "ログイン" ボタンに「ログイン」と表示

ちなみに、現段階で [ログイン] ボタンをクリックしても、エラー画面になります。それは、この Form で submit ボタンが押された際に処理してくれるプログラムが無いからです。



詳しくは次節にて説明します。

2-5 action を main.php に

[ログイン]ボタンが押された時、main.php を呼び出すよう、次のように書き換えてください。

```
7 <body>
8   <form class="" action="main.php" method="post">
9     氏名<input type="text">
10    <input type="submit" value="ログイン">
11  </form>
12 </body>
```

ここでは、指定するのみとして、次章で main.php を作成します。
main.php には、PHP というプログラミング言語にて処理を記述します。

こうすることで、login.html で入力された値を main.php が受け取って処理をするという仕組みを作ることができます。

第3章 PHP の基礎

login.html の氏名入力欄に氏名（例：〇〇）を入力し、[ログイン] ボタンを押したら「ようこそ、〇〇さん」と表示する仕組みを作ります。



PHP は Web サーバー上で動作するプログラム言語です。
ですので、ここから先は Web サーバーが必要になります。
第1章でインストールした MAMP を使うことを前提として進めていきます。

3-1 サーバー上で動かす準備

前章で作成した login.html を、MAMP のドキュメントルート(Document root)(P. 14)に移動しましょう。

ドキュメントルートとは、Web サイトのデータを置くための Web サーバー内での場所です。パソコン本体に MAMP をインストールした場合は次の場所です。

- Mac の場合
/Applications/MAMP/htdocs
- Windows の場合
C:¥MAMP¥htdocs

このフォルダ内に、「renshu1」という名前でフォルダを作ってください。
そして、「renshu1」に login.html を移動してください。

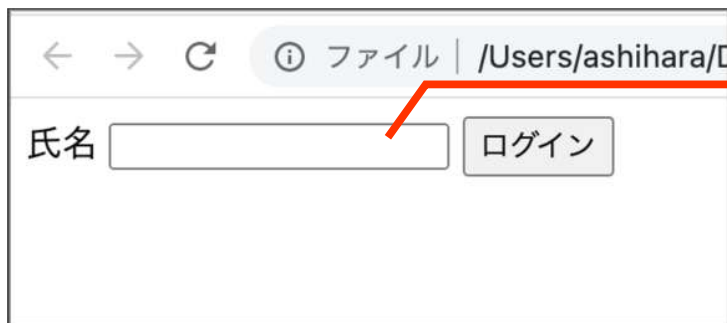
Atom で新規ファイルを作成し、「main.php」というファイル名で「renshu1」フォルダに保存してください。
(login.html と同じフォルダにしておきます。)

3-2 データを送る側の編集 login.html

form の氏名入力欄の input タグ内に name 属性を次のように追加してください。

```
<body>
  <form class="" action="main.php" method="post">
    氏名 <input type="text" name="shimei">
    <input type="submit" value="ログイン">
  </form>
```

【解説】



この文字入力欄を「shimei」という名前
で識別できるように
しました。

formの属性で「method = “post”」と指定しています。「POST 送信」で、main.php というプログラム側にデータを送ることができます。

3-3 データを受け取る側 main.php

①下記のように打ち込んでください。

```
1  <?php
2
3
4
5  ?>
6
```

PHP のプログラムは、「<?php」と「?>」の間に記述します。その準備ができました。

②データを受け取る命令を次のように書いてください。

```

1  <?php
2  $shimei = $_POST['shimei'];
3
4
5  ?>
6

```

追加

POST 送信で送られたデータを PHP のプログラムで受け取る場合、`$_POST['入力欄の name 属性名']`とします。

そのようにして受け取ったデータを、変数「`$shimei`」に格納するという意味です。

③受け取ったデータを表示する命令として、下記のように追加してください。

```

main.php
1  <?php
2  $shimei = $_POST['shimei'];
3
4  echo $shimei;
5
6  ?>

```

追加

ここまでできたら、動作確認しましょう。

MAMP で Web サーバーを起動した状態で、ブラウザで次の URL にアクセスしてください。

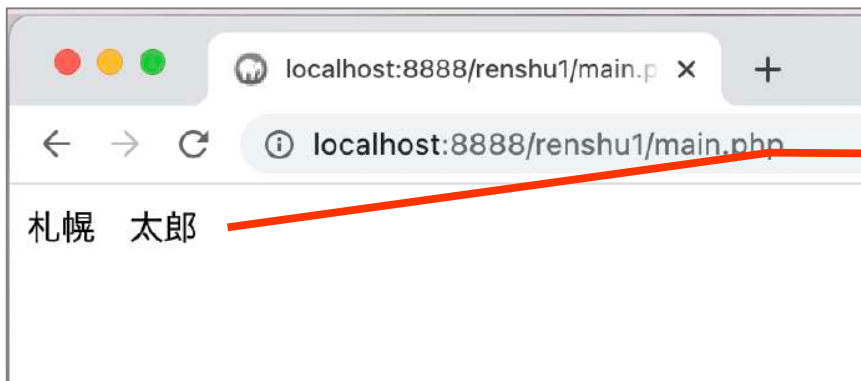
Mac の場合 …………… <http://localhost:8888/renshu1/login.html>

Windows の場合 …… <http://localhost/renshu1/login.html>

氏名

氏名欄に名前を入力し、

[ログイン] をクリックしてください。



前の画面で入力した文字が表示されたらOKです。

解説 文法の基礎

変数名は\$で始まる

プログラムの1文の最後は「;」で終わる。(日本語文章の「。」のようなもの)

echo 文字情報を出力する関数

3-4 PHP での文字列の扱い

人の名前を受け取って表示できるようになりましたので、表示するときに敬称も追加してみましょう。

```

1 <?php
2 $shimei = $_POST['shimei'];
3
4 echo $shimei . "さん";
5
6 ?>

```

①この部分を追加してください。

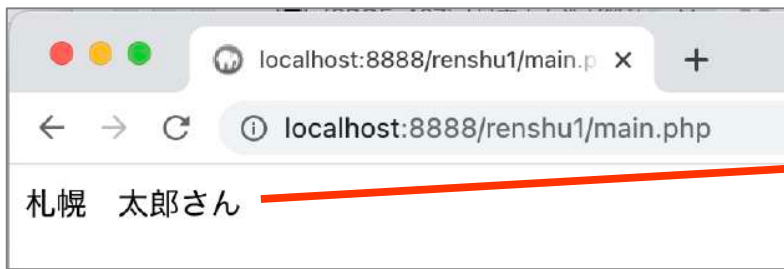
※基本的に、日本語以外は半角で打ってください。

「”」も半角です。

「.」の両側は半角スペースです。

半角スペース無しでもエラーにはなりませんが、見やすさのため入れてあります。

※見やすさはバグ防止につながります。

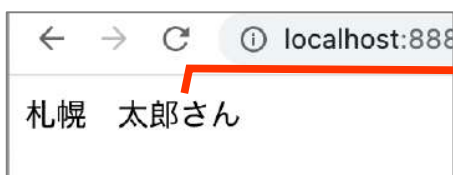


②このように表示
されればOKで
す。

解説 文字列の扱い

文字列は""または''で挟む
文字列の結合は「.」を使います。

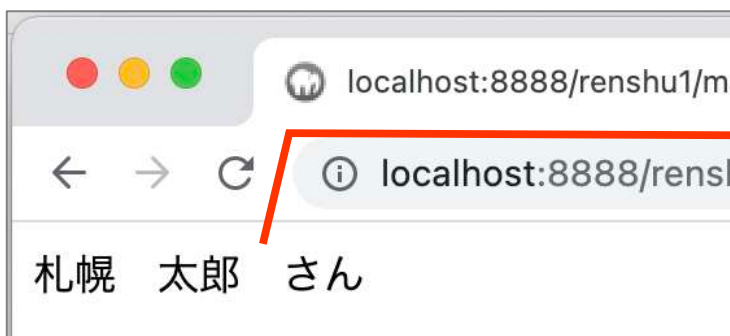
【参考】スペースも文字です



名前と敬称の間が空いて
いなくて気になる場合



このようにスペースを入
れてください。
(この例では全角スペー
スを入れています。)



思ったとおりに表示され
るか、確認してください。

【練習3-4】

次のように表示されるように main.php を書き換えてください。(追記)



(ヒント) 文字列を結合します。

3-5 最初のページに戻るリンクを作る

PHP のなかに HTML 記述することができます。
login.html に行くリンクを追加してみましょう。

```

4 echo "ようこそ、" . $shimei . " さん";
5
6 ?>
7 <a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>
8

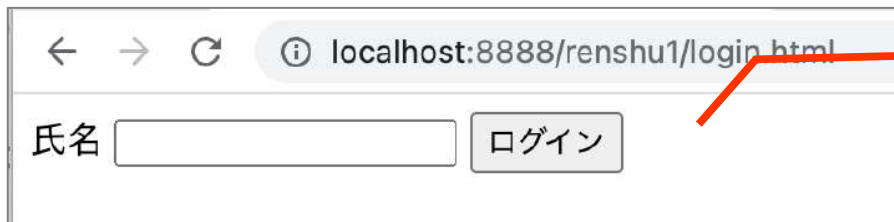
```

①この部分を追加してください。



②ブラウザで表示すると、このようになります。

③この部分をクリックしてください。



④ログインページが表示されればOKです。

解説 リンク (HTML)

`ログインページへ戻る`

リンク先

表示する文字

aタグ リンクをつくるタグ



3-6 改行 (HTML)

① この部分を改行してみましょう。



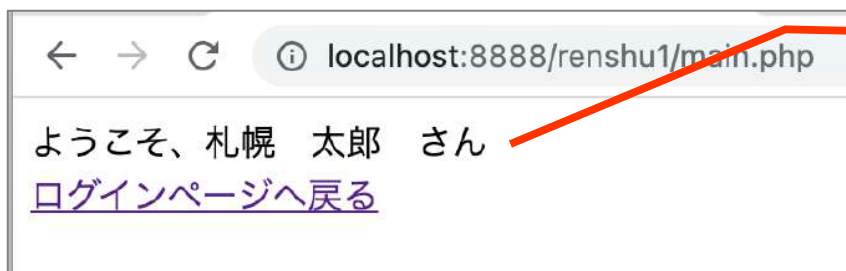
② br タグを追加してください。

```

6  ?>
7  <br>
8  <a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>
9  |

```

③ 改行されました。



【参考】
タグ

タグは、ブラウザ上で改行して見せる命令です。
1個で1つ改行です。
入れた数だけ改行します。

複数改行の場合、次のどちらの書き方でも構いません。
(テキストエディタ内での改行はブラウザでは見えません。)

テキストエディタ内
で改行

```

6  ?>
7  <br><br><br>
8  <a href='login.html'>ログク
9  |

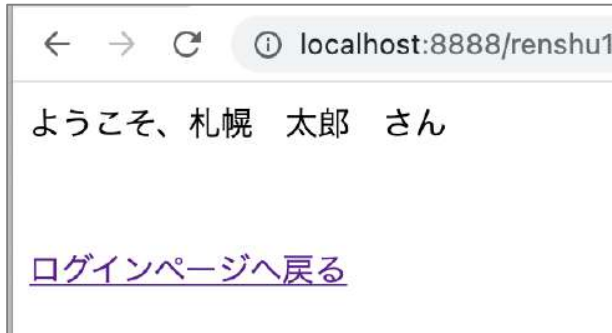
```

```

5  |
6  ?>
7  <br>
8  <br>
9  <br>
10 <a href='login.html'>ロク
11 |

```

ブラウザで見ると、どちらの書き方でも同じ見え方になります。



3-7 PHP 内に HTML を組み込む

HTML タグを書いていたエリアの
を削除し、PHP の次の部分に
タグを追加してください。

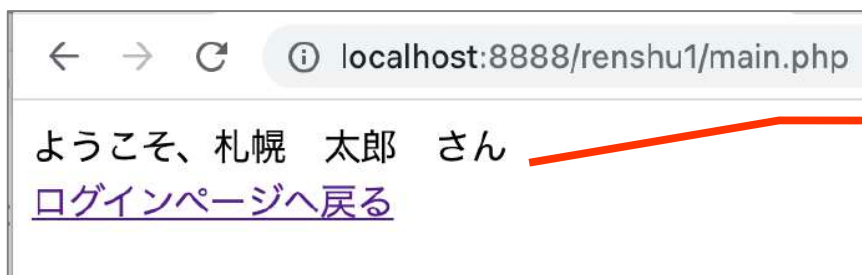
```

3
4 echo "ようこそ、" . $shimei . " さん<br>";
5
6 ?>
7 <a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>
8

```

ここに追加

ここあった
は削除



変更前と変わらない表示であればOKです。

解説 PHP が出力する情報

PHP で書いたプログラムは、ブラウザに文字情報を出力します。
実際にどのような文字情報が出力されているか、ソースを表示して見てみましょう。

① ブラウザ内で右クリックしてください。

② [ページのソースを表示] をクリックしてください。

※Chrome 以外のブラウザの場合、操作手順は異なりますが同様にソースを表示することはできます。

ソースを表示すると、このように見えます。ブラウザが表示しているのは、このコード。これは、PHP が出力した結果です。

対応を示します。

```

1 <?php
2 $shimei = $_POST['shimei'];
3
4 echo "ようこそ、" . $shimei . " さん<br>";
5
6 ?>
7 <a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>
8

```

PHP の部分は echo で文字列出力

HTML 部分はそのまま出力

【参考】ソース

Source code (ソースコード) の略。

ソースコード (英: source code) は、プログラミング言語で書かれた、コンピュータプログラムを表現する文字列 (テキストまたはテキストファイル) である。

(出典: ウィキペディア)



a タグの部分も PHP 内に移動

```

4 echo "ようこそ、" . $shimei . " さん<br>";
5 echo """;
6 ?>
7 <a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>
8

```

① この部分を追加してください。

② この行を切り取りしてください。

```

4 echo "ようこそ、" . $shimei . " さん<br>";
5 echo "<a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>";
6 ?>
7

```

③ 貼り付けしてください。

解説 文字列の中で、さらに文字列の表記方法

```
echo "<a href='login.html'>ログインページへ戻る</a>";
```

echo で表示する文字列全体が、「"」で始まり、「"」で終わる。

href=で指定するリンク先の文字列指定を、同様に"~"で挟むと

```
"<a href="login.html">ログインページへ戻る</a>"
```

となってしまう、これだとパソコンの方では

```
"<a href="
```

を一つの文字列のかたまりと見なしてしまいます。

そのため、意図したとおりに表示してくれません。

文字列の中でさらに文字列のかたまりを指示するには、「"」と「'」で区別しましょう。